

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（島根2号機 設計及び工事計画）【452】
2. 日時：令和5年4月7日 13時30分～17時50分
3. 場所：原子力規制庁 9階D会議室（TV会議システムを利用）
4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

忠内安全規制調整官、江寄企画調査官、皆川管理官補佐、  
義崎上席安全審査官、千明主任安全審査官、津金主任安全審査官、  
中村主任安全審査官、服部(正)主任安全審査官、岩崎安全審査官、  
伊藤原子力規制専門員、三浦技術参与、谷口技術参与、  
山浦技術参与

技術基盤グループ

小林技術研究調査官、大橋技術研究調査官

事業者：

中国電力株式会社

電源事業本部 担当部長（電源土木） 他7名

電源事業本部 担当部長（原子力管理） 他19名\*

電源開発株式会社

原子力事業本部 原子力技術部 原子力土木室 課長代理\*

## 5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

なお、本ヒアリングについては、事業者から一部対面での開催の希望があったため、「まん延防止等重点措置の解除を踏まえた原子力規制委員会の対応」（令和4年3月23日 第73回原子力規制委員会 配布資料2）を踏まえ、一部対面で実施した。

## 6. 配付資料

なし

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	を、はい。規制庁の千明です。島根原子力発電所 2 号機の設工認のヒアリングを始めます。本日午後の説明項目は、
0:00:09	竜巻への配慮と耐震、仮設大臣構台と。
0:00:13	大臣計算書関係。
0:00:16	と、保管敷設関係となります。それでは資料の確認と進め方について、説明をお願いします。
0:00:25	はい。中国電力の高松です。それではまず資料の確認からさせていただきます。竜巻への配慮説明書の仮設耐震構台からです。N-Sに他、099、鶺鴒-04。
0:00:39	ということでこちら一番をお願いします。
0:00:44	はい、続いてN-SにA. 10005、甲斐の 04 ということでこちら 2 番をお願いします。
0:00:52	続いて、N-S2A. 11、
0:00:56	005、甲斐の 04 の日、括弧日ということでこちら 3 番をお願いします。
0:01:07	はい。続いて、N-Sに補を 018、03 回の 04 ということでこちら 4 番をお願いします。
0:01:18	ここまでが竜巻への配慮仮設耐震鋼材です続いて耐震計算書仮設耐震鋼材です。N-Sに一ほか 336 階の 01 ということで、
0:01:31	はい。はい。
0:01:35	はい。シェアの確認はレーザーの竜巻の配慮ということで、そこまで結構かと思しますので、それでは質問、一つ目のパートについて説明をお願いします。
0:01:48	はい。中国電力の高松です。こちらについては広島の方からご説明させていただきます。それでは、よろしくをお願いします。
0:01:55	中国電力の伊賀と申しますそれでは立間系の配慮の勝田振興会関係のコメント回答になりますのでご説明させていただきます。資料につきましては資料ナンバー一番と 4 番、
0:02:08	補足の方で説明いたします。
0:02:10	まず 1 長南番号 1 番の回答整理表の 1 ページ目の下をご覧ください。まずコメントとしましては 8 番と 9 番の 2 件ございまして関連していますので 2 件、
0:02:24	同時に講演としてご説明いたします。まずコメント 8 番につきましては勝コメント内容が、勝田神工大の竜巻影響評価に、の結果について検討して説明することと、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:35	ということとコメントの 9 番の方が復興版について竜巻による飛来物とならない考え方を整理し説明することと、意見、ちょうだいいたしまして回答方針としましてはいずれにせよ強度評価と左飛散評価を、
0:02:49	こちらの方確認しましたのでこの後、ご説明をいたします。
0:02:53	資料につきましては資料番号 4 番、竜巻の不足のですねページで言いますと 14 ページをご覧ください。
0:03:04	はい 14 ページが仮設、別紙 2 ということで仮設耐震構造への影響確認ということで 2 ポツの倒壊による影響についてということで黄色ハッチングの部分ですが、
0:03:14	仮設耐震構造への南側の一部に開口部が存在することを踏まえ竜巻の強度評価を実施しました。
0:03:21	15 ページをご覧ください。
0:03:23	15 ページのですね図 2-1 の上の平面図に
0:03:29	えっとですね高香田のですね西側がですね下の方に開口部っていうところを図示を追加してました。
0:03:38	そこから南側から北向きに竜巻が各風圧がかかるという可能性があるため評価をいたします。その仮設耐震構台の情報としてはBB断面、
0:03:52	平面図D断面を追加してます 16 ページをご覧ください。
0:03:57	はい 16 ページの方が追加したBB断面でございまして直接耐震構造のあと原子炉建物の防護対象の間に低圧代替ポンプ、注水ポンプがありますけれども、
0:04:07	これをご覧のような状況になってございます。
0:04:11	17 ページお願いします。はい。2 ポツ 1 の評価方法です。
0:04:15	強度評価は基本的に編 6-3 の別添 1-1 の竜巻の共同計算の方針に示す条件を用いました。
0:04:23	評価対象断面は開口部が存在することからB断面を対象として選定しました。
0:04:29	評価対象部位はトーカイの観点から、水冷斜材支持部猪野さん、三つの部材を選定し解析モデルにつきましてはこれも説明しますが竜巻の耐震性の現在所に用いてます。
0:04:42	南北断面を用いて静的評価解析をし、実施しました。
0:04:47	図 2-3、作業イメージに示す通りですね支持具の真下から、江本からですね上間町まで、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:55	下部工にですね青い風圧力与えまして後、設計飛来物につき、設計対応につきましては、調部ですね、上部工の風圧軸にプラスとして上部に、
0:05:07	作業させてさせてます。
0:05:10	はい。18 ページをお願いします。
0:05:13	はい 18 ページで 2 ポツの評価条件です。は、ご覧の通りです。
0:05:18	すいません表の中ほどの表の 2-3 の設計荷重イーストの適正化することがござ、適正化課長でございます。すいません。説明します。
0:05:29	表 2-3 の設計荷重でFDの常時作用の常時荷重なんですけど、今、積雪荷重、コンマ 7kNしかありませんが常時固定荷重として、
0:05:40	構台の自重も考慮してますんで次回適正化します。
0:05:44	またWWF圧力の荷重ですけども、これ 12.452kN場メーターって書いてますが、これが下部工に関わる風圧力で実際は計算上では、上部工で 88kNの
0:05:58	圧力も考慮しています。
0:06:00	はい。すいませんでした。で下ですね 2 ポツの許容限界につきましては、
0:06:07	短期ですね曲げ圧縮とせん断で設定してます。
0:06:12	19 ページをお願いします。2-4、2 ポツの評価結果です
0:06:17	表 2-5 の市田村長他も修正しますが曲げ軸力やせん断に対して所達は 1 以下になって一番厳しいのが支持杭の曲げの
0:06:26	つけ根部分でコンマ 5Kってことで照査値以下であることで
0:06:30	強度を有していることを確認できました。
0:06:32	コメント 8 については開度は以上です。
0:06:36	続きましてコメント 9 ということで 1020 ページをお願いします。
0:06:42	20 ページからは楠田振興での運営に設置してます復興版。
0:06:47	についての飛散評価をし実施してございます。
0:06:51	21 ページをお願いします。
0:06:55	3 ポツ 1 で確認方法及び結果なんですけれども、まず 1、
0:07:01	上の方に書いてます通り、
0:07:03	今福工場の設置状況としまして勝構台の上部一面に敷設してる状況であるから、ああることから、竜巻による負風荷重につきましては、
0:07:12	鉛直方向の上向きに作用する可能性があるということで下から上に向かって、
0:07:17	竜巻の風風圧事項を想定し確認しました。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:22	(1)で竜巻風速の設定につきましてはフジタモデルによる風速場における鉛直として、延長方向の風荷重として3、32メートルを設定しました。
0:07:34	(2)で浮き上がり荷重です味につきましてはご覧の式に当てはめまして、
0:07:40	保守性につきましてはAIですね、重圧面積につきまして保守的に勝田清香田イトウの固定分の面積も考慮した上で、
0:07:47	最も小さい
0:07:49	大判の面積すべてを考慮して、
0:07:52	浮き上がり荷重で設定してます。
0:07:54	A3で今度浮き上がりに対する抵抗する荷重としてF工場の自重と、工場を止めてます締結金具の、
0:08:02	締結力を抵抗性について設定した結果、一番下に書いてますが、浮き上がり荷重3.1キロに対して44.2kN、
0:08:11	こうしますので飛来物化しないということを確認できました。
0:08:15	コメント9の回答は以上になります。説明は以上です。
0:08:20	はい。規制庁チギラです。それでは今説明がありました、コメントのナンバー8とNo.9に関して確認する点がある方はお願いします。
0:08:43	すいません規制庁タダウチでございます。
0:08:46	当初資料の4の3ポツ、
0:08:51	ですかね。
0:08:53	島弧仮説構台自体が飛来物化するしないの話をここでやっていらっしゃると思うんですけども、
0:09:05	ここで復興版、
0:09:08	ガ一飛来物とならないことを確認するっていうのがあるんですが、
0:09:13	感覚的にはそれでも理解はできるんだけど復興版以外のところが何か弱部になって何か外れていくとかそんな話はどっか前段にあったりするんですかしないんですか。
0:09:25	何かここ決め打ちでやってるような話にはなってませんかってところなんですけども、そこはどうでしょう。何か。
0:09:31	選別するとか、何かそういった評価のもとに最終的にここが一番最弱部だからこいつが飛んでいくじゃねえかっていう話を、をちゃんとやってるんなら、理解はできるんですけども何か突然何か飛来物かで、
0:09:46	復興版だけっていう話になってるような気もするんですがそこら辺についての考え方、すいません教えていただけますか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:56	はい中国電力の伊原です。はいそうですね。1020 ページの 3 ポツで、いきなり復興版んっていうことに変えんってますけども
0:10:06	そもそも、仮設大臣交代を波及的で耐震評価して、してますので、項番の下ですね上部工下部工っていうんですが、それでも何か外れないような、きちっとしたボルト固定とかをしてから、耐震評価をしますので、
0:10:20	そういったものを踏まえて締結金具っていうか、かなりその強度は、
0:10:25	弱いようなものが、
0:10:27	一番上に、
0:10:30	存在してからですね、下から 9 鉄骨なり上に上がる風荷重があって一番飛びやすいっていうような、
0:10:36	古藤の考え方をちょっと
0:10:39	3 ポツの下ぐらいにかかった聴こえたいと思います。
0:10:43	下の方については以上です。
0:10:45	規制庁多田です。最終的にここうを評価すれば他は特に問題ないというところをちゃんと示していただきたいと思います中身について何か。
0:10:54	私云々かんぬんって話じゃなくて、ここが最終的に、
0:10:59	残ってここだけ評価すれば十分だということをまず示してもらいたいというのが一つですね。それとあと 21 ページの方なんですけれども、
0:11:09	(1)、
0:11:11	3 ポツの確認方法及び結果のところ(1)の鉛直方向の竜巻風速の設定。
0:11:19	であるんですけれども、
0:11:21	すみませんこれフジタモデルの風速場におけるっていきなり出てくるんですがこれ何でフジタモデルを使うんですかね。
0:11:28	何かランキンの方が最初に来そうな気もするんですけれども、ここでいきなり藤田を選んだ理由ってのは何かありますかこれがいいんですよっていう選定理由を教えてください。
0:11:44	中国電力の林です。当社におきます竜巻影響評価について建物についてフィートモデルを採用しておりますその評価の一貫性を考慮してフジタモデルの不足を考慮した評価を実施しております。以上です。
0:11:58	規制庁タダウチですそうすると前段に飛んでいくものに対しては基本的に中国電力の評価においてはフジタモデル使いますよっていうところがまず基本としてあるので、それと同様の考え方っていう。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:13	ことですかね。そうするとむしろ、本来竜巻飛来物となるようなものって いうところの話にここら辺全部入ってくる、まとめて入ってくるような話な んじゃないんですかここだけ何か徳田市でやってるような、
0:12:25	気もしないでもないんですけれども、そこんところいかがでしょう。
0:12:51	中国電力の家田ですかすいませんご質問の趣旨なんですけども、
0:12:56	今回この飛散評価っていうものを、なぜここ徳田してる工場だけやるの かっていうような、
0:13:03	ご趣旨でしょうか。
0:13:05	最終的にはそういう形になっちゃうのかなと思ってるんですけど、そした ら、本来だったらそっちの方に入れるような形になってくるのかなって気 もしないでもないんですが、
0:13:16	最終的にここら辺についてまとめて追加検討やってこっちについて問題 ないですよって話にさせていただけるのは以降に構わないと思うんですけ どセイリガクの話でしておさまりどころがあんまり、
0:13:28	ここだけでスペシャルでやるのは、いささかいかがなものかというそうい う話だと思ってるんですがそういったところでのまとめ方としてはいかが でしょうか。
0:13:50	中国電力伊原です。例えばこれまでの認可実績も含めて見ますとあま りこの何か資機材とか飛散評価っていうのは工認資料では説明せずの 方針として資産評価をしてから、
0:14:02	飛散するものは個別固縛固定損失か何か室内に入れるとかそういった ことの方針説明で終わってまして今回この仮設構台だけが少し、
0:14:13	ですね可決ということもありまして、少し弱い締結金具を貯めてるって いう状況を踏まえて計算して示したというような、
0:14:22	今のたてつけでは、こういう考えで考えております。以上です。
0:14:26	すいません規制庁多田です。そういった意味で仮設耐震考えています。 大丈夫です。
0:14:35	明1日でございますが、そういった意味で仮設耐震構台が後から出て きた瀬、構築物ちゅうかそういったものが出てきているので、そうい ったところで、改めてこういったところの評価もちゃんとやりましたよ。
0:14:52	って話なのかなっていうとらえ方か。
0:14:54	私はそういうふうに認識はしました。はい。
0:14:57	それともう一つちょっとこれ簡単な話が最後なんだけれども、21 ペー ジの(3)、金具の締結力のところで最終的にはこれ数字で 44.2kNって話 になってるんだけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:11	これは締結力の話で部材の話、強度的な話は特に入ってきてないってそういうことでいいですかね。当然強度はこれよりも上回っ十分持ってるから、締結力のほうに帰着するこれも考え方の整理の話だと思うんですが最終的にここだけ確認すればいいよって話が。
0:15:28	どうしてここだけなのか、締付力だけ、評価すりゃいいのか、もともとのそのVだとかね何とかの強度なんていうのはこれよりも十分大きいから締結力だけ確認すりゃいいんですよってところがちょっとないと、
0:15:41	一体何の評価やってんだかよくわからないと、そういった意味ではさっきのところの、そもそも野瀬整理としてねこどうして最適にここだけやればいいんだってところが、ちょっともうちょっと示していただいた方が、
0:15:53	いいんじゃないかなと思うんですけどその点についてはいかがでしょうか。
0:15:59	はい。中部電力の飯田です。はいおっしゃる通りではい。ちょっといきなりですね工場の締結金具の締結が一番評価してまして実際ボルトで
0:16:12	インパクト弁ってこう締め付けるんですけど、モールドの一般委託の方が一番強いんで、一番何か荷重として、
0:16:22	締結力の数として弱いのが、締結金具っていうの、ちょっと何ていうかね、その辺のこの、なぜその締結関係の締結力を
0:16:32	見るかっていうところなんで、説明がされてませんでしたので、
0:16:36	少し付け加えたいと思います。
0:16:38	以上です。
0:16:39	規制庁タダウチで中身として何か僕問題があるとは思ってないんですけどそこら辺の説明の仕方とかまとめ方のところはちゃんと丁寧に説明をしていただきたいと思いますそこら辺の記載の充実をお願いします以上です。
0:16:57	はい。了解しました。
0:17:01	はい。水道事業です他確認する点ある方。
0:17:04	いらっしゃいますか。
0:17:09	規制庁の江寄ですけども、わかりやすさの観点で、
0:17:13	この 15 ページと 16 ページへ行った時にこの会合部っていうのが、平面図をちょっと書いてあるだけなんで、
0:17:22	16 ページに書いてあるB断面と同じように、駄目とこしくれませんか。
0:17:28	うんそうしナイトウ多分次の 17 ページで、飛来物が横からぶつかるって展開がわかりにくいとっていて、
0:17:36	よろしいですか。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:17:39	はい全部イハラです。はい開口部のまたちょっと南北断面で配置状況がわかるような断面に追加します。それで多分 17 ページで言っているのは多分、
0:17:50	その断面を、多分、ここでは仮にD断面としたら、リーダー一面とB断面は基本的に変わらないんで、
0:17:58	一応B断面の
0:18:02	で使って計算しますっていう話だと思うんですがそこをわかりやすくしていただく必要があって、あとこの
0:18:09	図の 2-3 っていうのが、
0:18:12	ロジックとして、水平方向だけなんだけど、
0:18:17	3.1-21 ページ以降は、福場にも、
0:18:22	下からの吹き上げ力ってのはね、かかるっていうふうに言ってるので、大した荷重じゃないと思うんだけど、それをそれを関わるかからない、省略できるのは省略できるという説明をしといた方がいいと思うんですがいかがですか。省略できるんですか。
0:18:37	そんな大した荷重じゃないと思うんだけど。
0:18:56	中国電力の伊田です。ちょっと、それから小貫の力の鉛直の風にも附属としましては三分の 1 程度ですので、
0:19:04	ちょっと資料の中で考慮するかしないかっていうところも含めてからちょっと記載を充実、
0:19:10	したいと思います。はい。
0:19:13	それでさっきタダウチの方が言っていた、実際に
0:19:18	全体としての話でいわゆる
0:19:22	吹き上げ力に対して保持できるのかどうかという話ありますよねそれっていうのは基本的に、
0:19:29	19 ページで出てきている 2 のこの二つの表から見れば、市長員応力が小さくて、
0:19:36	十分、
0:19:38	躯体の健全性と細かいところまで見ていないけどもそういう細かいところで比較するんであれば、ここ、
0:19:45	SSなりで見た接合部だとかそういったところから考えてみても、
0:19:51	まあまあ細かく書いてないけどな後でいいけど、
0:19:54	そうしたかんがみて基本的には、破損は生じないんでへはそうした部位の、
0:20:04	何て言うんすか。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:06	平井とかそういったことには、
0:20:08	事象は起きないって多分そういうことですよ。その辺はちゃんと明確に書いて説明してください。
0:20:14	私からは以上です。15年。はい。
0:20:18	わかりました。
0:20:24	規制庁の三浦ですエザキと同じようにこの開口部、14ページの開口部ってというのがわかりにくいので、この内容ってというのは、
0:20:33	基本的にあれですよ、掘削に伴って仮設構台と斜面との間に空間が生じてるのを、開口部というふうに呼んでるんですよ。
0:20:42	だから本来ならば、全然考慮する必要ないんだけど、すごく保守側に、その部の開口がああ空間部があるんで、風荷重を見てやりましたと。
0:20:52	いう理解をしました。もうちょっとその瀬崎も言いましたけど開口部のところ説明を加えておいてください。
0:21:01	中国電力の伊原です。わかりました。
0:21:07	規制庁の服部です。
0:21:09	先ほど少しタダウチの方に説明があったので、何となくわかった気もするんですがもう1回念のために確認をさせてください。
0:21:19	②の資料の、
0:21:24	18ページをお願いします。
0:21:28	これは添付資料になるんですけども、
0:21:34	うん。
0:21:35	3ポツ4のところの(1)のところ、
0:21:39	機械的影響を及ぼす可能性がある施設ということで、
0:21:44	ポツbポツ、
0:21:47	で選定をしているということになります。
0:21:50	その中に今回なお書きとして、
0:21:56	耐震構台は竜巻の影響を受けないことから、施設にしないよという説明があるんですけども、
0:22:03	それは先ほどのそのタダウチに対して説明した内容を、
0:22:07	を踏まえてこう書いたということなんでしょうか。どうぞ。
0:22:20	はい中部電力の伊原ですそうです。
0:22:24	基本的に波及的影響竜巻で波及的影響をするのは、地上部のあって、防護対象に対して倒壊っていう観点で、
0:22:33	注意されるものは別添の通りで共同計算書出すものであって、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:38	この仮設講座につきましては補足の別紙で方で、基本的に 14 ページで 5、記載の通りですね。
0:22:45	GLから下の地下に使う地下部にあるような構造物で、
0:22:51	鍛冶鍛冶受けなくて 15 ページに示す通り、外部防護対象の減少建物と、
0:22:57	波及的影響合成範囲じゃないんですが、開口部あることを評価しまして、評価しましたっていうようなチェックの位置付けでやりましたので、あくまでも添付指導上は施設と
0:23:09	木戸 8 の通りの説明ぶりで、家族の方では確認をしてるという立て付けに今しています。
0:23:18	規制庁の八田です先ほどの説明だと、
0:23:21	結局地上部にあるものに対する転倒に対しての影響のことをここでは機械的影響を及ぼす可能性がある施設として抽出していると。
0:23:30	なので地表面以下のものについては影響ないということで建て付けにしているということで、ここにそれを記載したということで確認をしました。
0:23:40	一方で、④の資料の 1 ページの方を見てみると、これは補足説明資料なんですけれども、
0:23:49	ここです—one 応施設の選定ということで選定が書いてあって、
0:23:55	ここでわあ機械的影響のところはガントリークレーンとというふうにしてガントリークレーンが入っていて、
0:24:01	これも別置の方で一応ずらすので影響ありませんということで、
0:24:07	除外をしてるんですけれども。
0:24:10	こことの整合の観点はいかがなんでしょうか。
0:24:23	中国電力の林です。パントリー庫の方につきましてはちょっと先行電力との意思で設備の位置付け等もかんがみまして竜巻で、その猛影響を考慮する施設として抽出するように見直しております、
0:24:37	そちらの確定的影響としての共同共用計算結果を来週の金曜日 14 日にご説明する予定でございます。以上です。
0:24:45	規制庁の服部ですすいませんもう一度念のために確認させてください。
0:24:49	この添付のところにガントリークレーンを入れるってということですか。
0:24:56	中国電力の早瀬笹井ご理解の通り添付書類の方にもガントリークレーンを重視した上で強度計算書をお出しするということですし説明するといった、を予定してございます。以上です。規制庁の八田ですわかりましたそうすると。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:08	添付等補足のこの記載が整合するということですね。わかりました私から以上です。
0:25:30	規制庁大橋です。④の資料④の資料の、最後の 21 ページの、
0:25:37	ところなんです、
0:25:39	両括弧 2 の浮き上がり荷重を算出するときに、
0:25:44	活動営業系SGを 1.0 っていう値を使っていて、
0:25:50	竜巻じゃない一般的な課税荷重を、
0:25:55	一般建築で求めるときは、
0:25:57	大体 2.0 ぐらいの値を使うのが一般的なんです、
0:26:02	ここで 1.0 という値を使っていることの、
0:26:06	理由を説明してください。お願いします。
0:26:21	中国電力の林です。竜巻影響評価につきましてガスト係数を 1 を使用することが、例えば計画ガイドに記載しております、はい。本計算でも一応、使用してるというような状況でございます。以上です。
0:26:36	規制庁大橋です。
0:26:37	縦長の風速が大きいので、そういうような対応を使えるということで理解しました。
0:26:44	ありがとうございます。
0:27:03	すいません皆川ですけれども、ちょっとガントリークレーンの話、ちょっと教えて欲しくて、
0:27:11	いやというのもですね、前ちょっとガントリークレーンの話で聞いた時に、ちょっとガントリークレーン設置許可のときしまねどういふうにしてたかっていうと、
0:27:21	これ私の理解ですけど、
0:27:24	ガントリークレーンを移動させるので、例えば竜巻が来たときに、ガントリークレーン移動させるので、それを固定することによって、多分この 13 ページ、
0:27:37	の資料にある通り、倒壊したとしても波及的影響を及ぼさないのっていうので、対象にしてませんでしたっていう多分許可の時の整理、
0:27:47	なんだと思ってますと、一方で、その強度評価、
0:27:53	についてはここ実は公認でどこまでやってるかってばらつきがあるっていうふうに理解してます先行PWRとかで、
0:28:04	島根と同じような状況の時にその固定するストッパーのところを強度評価までしているプラント。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:12	はなく、ただし一方で 1000BWRの女川彦前の女川島根と同じような状況だけれども、
0:28:20	ストッパーのところまで評価をしているっていうので多少ちょっとばらつきがあるっていうふうに聞いてます。その時に島根をどうするかって聞いてたのは、
0:28:29	設計方針としてストッパーでちゃんと止めて波及的影響がないようにしますっていうのを添付説明書に記載をした上で、
0:28:37	計算についてはその影響、
0:28:40	補足説明資料で、そのストッパーが竜巻キー荷重にちゃんと持つっていうことを説明する、しますっていうふうに、
0:28:49	過去聞いてたんですけど、今、全部あれなんでしたっけ、テンプに入れようとしてたっけ。
0:28:57	中国電力の林です。先ほど私の説明がちょっと不正確なところがございました。先ほど稲葉さんがおっしゃった通り添付書類の説明書の方でガントリークレーンを波及的影響。
0:29:10	の施設として挙げた上で、ガントリークレーンつき率は離隔をしてさらに固定価格にて固定している旨を、説明書の方では記載させていただきます。具体的な共同計算の結果につきましてはお示しするんですけど説明資料の方で、
0:29:24	運用とともに今日計算の結果を示すというような整理をしようと考えてございます。以上です。
0:29:31	皆さんごめんなさいちょっともう1回確認なんですけど、あれは波及的影響対象施設にする、するんだったら、あれ計算書必要なんじゃないですか。
0:29:41	いや私の理解はストッパーでちゃんと固定するのでっていうふうにして外すのかなと思ったんですけど違うんですしたっけ。
0:29:50	中国電力の林です。先行のPWR電力と同じような構成を維持を考えてございまして、波及的影響の方で、施設として、ガドリ分後、提示した上で設計方針、
0:30:01	の方で溪流と空き立地を変更することと後、そっばによって置いて止めるという運用することで、を記載させていただいて強度計算書には、
0:30:13	ガントリークレーンの強度計算の結果を示して参った先行BWR電力の整理でして、当社もそれに倣いまして、説明書の方で波及的影響の施設として、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:25	全部優先してあげて、さらにガントリークレーンは設計として江藤部長変更しますと、させていただいてATOKということをお計画してございます。以上です。
0:30:45	皆川です。えーとですね、あれですねだから対象には入れて。だけど運用として、係留させるのにそこはちゃんと肯定するので外します。
0:30:57	という設計方針だから、説明書にはなって、一方で念のため、補足説明資料でちゃんとそのストッパーが持ちますっていうのを、
0:31:07	示すってそういうことをおっしゃってたっていう理解でいいですかね。
0:31:14	中国電力林はいご理解の通りです。以上です。
0:31:18	皆川さんとりあえず事実関係ははいわかりました。私から以上です。
0:31:30	はい。規制庁吉良です他。
0:31:32	確認するってある方いらっしゃいますか。
0:31:36	よろしいですかね。
0:31:38	はい。
0:31:39	では竜巻の配慮、仮設耐震構台。
0:31:43	の説明と内容確認については以上としたいと思います。
0:31:48	それではここで人の入れ替えがありますので一旦録音を提示いたします。
0:31:55	はい。規制庁の千明です。それでは準備が整いましたので次の説明をお願いします。
0:32:04	はい。中国電力の高松です。それでは仮設耐震鋼材の耐震の方の資料確認からさせていただきます。
0:32:13	はい。資料番号がですねN-Sにほか 336 階の 01 ということでこちら 5 番をお願いします。
0:32:21	はい、続いてN-SにA. 2014-38 ということでこちら 6 番をお願いします。
0:32:30	N-Sに補 027、10-93 回の 01 ということでこちら 7 番をお願いします。
0:32:41	はい。続きまして、保管アクセス土建関係も番号振りをします。N-SにA-他 086 鶺鴒の 26 ということでこちら 8 番をお願いします。
0:32:54	N-S2、A. 1026、神野 08 というところで、こちら 9 番をお願いします。
0:33:01	N-Sに補A020、甲斐の 48 ということでこちら 10 番をお願いします。
0:33:10	ここまでが保管アクセスの件のコメント回答です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:13	ここから、屋外重要土木構造物の第1フィルタベント格納槽ほかですけども、N-SにA-放火 334、簡易の 01 ということでこちら 11 番でお願いします。
0:33:26	はい。
0:33:28	続いてN-S2.2、A-002、A-30 の会の 01 ということでこちら 12 番でお願いします。
0:33:38	N-Sに続きましてN-SにA. 2002、A31、簡易の 01 ということでこちら 13 番でお願いします。
0:33:48	続きましてN-Sに、ほぼ 02609 回の 02 ということでこちら 14 番でお願いします。
0:33:57	はい。続いてN-SにA-他 351 ということでこちら 15 番でお願いします。
0:34:07	はい。続いてN-Sに、添 2、A-002、A-26 の会 01 ということで、16 番でお願いします。
0:34:18	はい。続きましてN-SにA. 2002、27 の会員の 01 ということでこちら 17 番でお願いします。
0:34:29	はい。続きましてN-Sに補を 026、ぜ、A-06 回の 01 ということで、こちら 18 番でお願いします。
0:34:40	はい。続きましてN-Sに、
0:34:43	一他、1、126、鶺鴒の 07 ということでこちら 19 番でお願いします。
0:34:53	続きましてN-Sに補 026-01 の
0:34:59	会員の 08 ということでこちらに 20 番でお願いします。
0:35:04	はい。続きましてN-Sに他、350 ということでこちら 21 番でお願いします。
0:35:13	続きましてN-Sに補 015、岡井の 12 ということで、こちら 22 番でお願いします。
0:35:23	はい。ここまでが屋外重要土木構造物関係のコメント回答資料です。最後水平 2 方向の関係の資料ですけども、
0:35:30	N-Sに他、264、甲斐の 04 ということでこちら 23 番でお願いします。
0:35:39	はい。続きましてN-SにA. 2015-01-03 ということでこちら 24 番でお願いします。
0:35:50	はい。続きましてN-Sに補 023、
0:35:55	04、甲斐の 04 ということで、こちら 25 番でお願いします。以上になります。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:04	はい。こちらの確認ができましたので、それでは説明の方をお願いします。
0:36:14	はい。中国電力の早田です。それではまず耐震計算書の仮設耐震構台、こちらについてご説明いたします。資料としましては、資料番号 5 の回答整理表と、資料番号 7 の、
0:36:28	補足説明資料を用いてご説明いたします。
0:36:31	それではまず、資料ナンバー5 の回答整理表をお願いします。
0:36:37	回答整理表のNo.6。
0:36:40	のコメント。
0:36:42	CC断面及びD断面についてアクセスルートの通行性への影響、水平 2 方向同時加振及び構造の切れ目における干渉を踏まえた評価対象断面の妥当性について説明すること。
0:36:56	こちらにつきましては資料番号 7 の補足説明資料の 111 ページ。
0:37:01	からご説明いたします。
0:37:07	111 ページをお願いします。
0:37:11	参考資料 2 ということで、
0:37:14	評価対象断面以外の影響確認についてということで、
0:37:18	仮設最新構台の教授区直行方向の評価対象断面は、下の図に示しますA断面及びc断面のうち、
0:37:27	地震時に、仮設最新構台が変形した際に、上位クラス施設である低圧原子炉代替注水ポンプ格納槽に衝突する可能性のある、
0:37:38	AA断面としております。
0:37:40	今日軸方向は、評価対象の断面は、
0:37:44	重田のスパン長が 20 メートルの間であるB断面と、BB断面側に対して重田の縁が切れている、14 メートルの間であるD断面がございまして、
0:37:56	スパン長が長く橋脚がより大きな荷重を分担する区間である、D、D断面を評価対象としております。
0:38:03	評価対象以外のCC断面及びD断面、
0:38:08	こちらの影響検討を実施し波及的影響を及ぼさないこと及びアクセスルートの通行性を確認いたします。
0:38:15	112 ページをお願いします。
0:38:21	評価方針です。強軸方向のADD断面の影響検討につきましては、
0:38:27	強軸方向の評価対象断面であるB断面の評価結果より、最も厳しい照査値となった基準地震動及び評価対象部位、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:38:37	を対象としまして発生する曲げ軸力せん断力が許容限界以下であることを確認いたします。
0:38:44	ADD断面の解析モデルは、南北方向の断面であるAA断面に、D断面位置の架設最新構台を投影しました。
0:38:55	113 ページをお願いします。
0:39:00	113 ページに、確認結果をお示しております。
0:39:04	D断面の仮設耐震構台の評価対象部位に発生する曲げ軸力及びせん断力が許容限界以下であることを確認しました。
0:39:13	以上を踏まえ影響軸方向の断面である、D断面においても、波及的影響を及ぼさないこと、及びアクセスルートの通行性を確認しました。
0:39:23	114 ページをお願いします。
0:39:28	114 ページが、影響塾直行方向のCC断面の検討になります。
0:39:34	こちらにつきましては、影響評価を実施したD断面に対して支持ぐいの、
0:39:40	駅部における応答加速度の比較をいたします。
0:39:44	地震応答解析を実施する解析モデルを、114 ページにお示しております。
0:39:51	全体図の下に拡大図をお示しておりますが、114 ページの拡大図が間違いでございまして、
0:39:59	正しくは 115 ページの拡大図になりますので、次回以降修正させていただきます。大変失礼しました。
0:40:08	加速度の抽出位置としましては、115 ページの拡大図の赤枠の部分から抽出しております。
0:40:17	117 ページをお願いします。
0:40:21	CC断面とADD断面の応答加速度。
0:40:26	のを、表にお示しております。最大水平加速度、最大鉛直加速度ともに、概ね同等の値であることを確認しました。
0:40:36	以上を踏まえ、D断面による評価により、波及影響を及ぼさないこと及びアクセスルートの通行性を確認していることから、CC断面についても仮設耐震構台が、
0:40:47	波及的影響を及ぼさないこと及びアクセスルートの通行性を確認いたしました。
0:40:52	以上が、コメントNo. 6 の回答になります。
0:40:58	規制庁の江崎です。
0:41:01	今言ったこの 117 ページ。
0:41:03	でね、よる。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:05	荷重は変わらないよっつってんだけど、
0:41:08	基本的にじゃあそれだけでいいのって話があって、
0:41:12	当然ここで荷重だけ比較すればいいっていうことは、CCとDの。
0:41:19	構造。
0:41:20	に、差がないで構造ね。
0:41:23	それが前提になってんだよね。だからそれを言わないとおかしくて、
0:41:28	その構造って何かっていうと、設計としては応答特性、
0:41:32	ですよ。
0:41:34	それと、当然その強度特性、
0:41:37	両方を見て、説明しないといけないんだよね。
0:41:41	だから、基本的前提たるものを説明してないので、課長が大きい小さいし、言ってもしょうがないでしょって話があって、
0:41:48	この辺どうですか、できそうですか。もう時間がないので、もう。
0:41:54	何ができるかって言うのもせえおっしゃってください。
0:42:00	はい。中国電力の高松です。こちらの我々の考えとしましては、基本的にこの構造で支配的になるのが、
0:42:10	支柱になっていると、いうことをABの傾向から把握しております。さらに言うとその支柱、支持柱ですね、この支持ぐいの、どこかっていうのも確認しますと、
0:42:24	岩盤の基部になっているっていうところも確認しております。
0:42:28	なので、この芝洪井のですね、基部の応答を比較すれば、基本的にはそれが照査値に繋がっているっていうところは、
0:42:40	Bの傾向から掴めておりますんで、なおかつ構造的な特徴を考えても、高見さんで、これABも来ちゃうと、Bも一緒だって話になっちゃうわけなんで、
0:42:53	基本的に言うと、
0:42:54	簡単に言うとね、例えばこういう周期はどうなんですか。
0:42:59	最弱の強度のね、余裕はね、どのぐらいですかって話ですねそれ、どのぐらいですかって余裕はさ、何に対してっていう話にもなるんだけど。
0:43:09	逆に言うとさ、こういう周期、
0:43:12	てか要は固有値ではね、比較をして、簡単に言うと、
0:43:17	あと、例えば、全体の強度としてはほぼ、
0:43:20	人事保有水平耐力ボトムでもらって、それで、基本的に大きい大きい小さいでどっちで包絡できているか。
0:43:27	局の設計の考え方だったらそういう形になると思うんですよ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:31	そうそれはもう、
0:43:35	歴然としてわかるんで、さっき言った強度特性と、応答特性、
0:43:40	それを非比較するものをつくれますかつかれませんかという、
0:43:47	はい。中国電力の高松です。ちょっとBBからCCDまでの応答特性ということで、こういう周期の情報ですね、こちらはまだ見切れておりませんので特にCCDは見きれれておりませんので、
0:44:01	そのあたりをちょっと確認してみたいと思います。はい。以上です。そもそもね、これAB出てくるのは、次まで同じことが対応してるんで、さっき言われてるのかもしれないんだけど、
0:44:13	次のやつも同じような点かいいですよ。
0:44:16	だから、
0:44:18	まずね、
0:44:19	設計してないことないでしょ。
0:44:21	例えば 3Ciで設計してますか。
0:44:27	そう。設計してなかったら構造決まらないですよ。
0:44:30	長期荷重しかしてませんか。地震時は何もやってないと、短期は。
0:44:38	はい。中国電力吉住です。
0:44:41	ちょっと今の最新版のちょっとモデルではないんですけどもそれを用いて代表となる地震動としては、やはり一番厳しいSDとN&そういった代表的な地震動というのが決まっておりますので、それによって実施設計をしております、鋼材、
0:44:57	等の把握はしております。以上です。ほんでその時に、
0:45:02	最初、融度は、その構造断面ごとに、
0:45:08	同じですか。大小の大きさ違いますか。そこで、
0:45:12	基本的に安全包絡できるって言えますか。
0:45:16	はい、中国電力ヨシツグですちょっと細かな数字は動いてないですよ。基本的には、仮説なんですけれども、Ssに耐えられるようにということで融度を、確か 0.8 以下に抑えるような断面比較だから省略できる理由として、
0:45:32	片方の断面に安全包絡できるっていう趣旨で話を展開してるわけだから、
0:45:37	そう、実際のキョウチに対する安全余裕云々つつても、荷重が違うから、Ssと 3Ciとか、何でも議論なくなくて、
0:45:45	基本的に構造体としての比較しないとやってるでしょ、斜面安定で 3Ciで断面選定してて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:54	その断面によってどれだけ一律の強度を、荷重に対して、同じ荷重に対してどれだけ裕度を持つてるかっていうことで、どちらの方が斜面の方が体力裕度があるのか。
0:46:05	耐力言うとなんかものを選びますって言うてるじゃない。それと同じ理屈で絞れませんかっつてんです。
0:46:38	規制庁の江崎です保有耐力って、
0:46:40	ていうと、非線形の解析までやらないと出てこないの、なかなか難しいと思うけども、それを一つ、
0:46:48	弾性範囲内のその協力度の世界の中で、
0:46:52	です。
0:46:54	扇形で計算したときにどこまでタイルを持てますかって話。
0:46:59	そういったときに、一つ指標になるのは設計をすでにしているのであれば、すでに静的な検討は線形計算してますよね。そ、そのぐらいしないと、プロポーション決まらないですよ。
0:47:12	その時に、
0:47:14	CCとD断面、単純に比較すると、
0:47:18	ほぼ、
0:47:20	同じぐらいって言えますかって聞いてんですか。はい。
0:47:24	ちょっとこれから考えますけれども設計上はやっております。構造部材としてのモデルがありますので、それで江藤それぞれごとに、例えば同じような、
0:47:35	同じ静的振動を与えたときの誘導企画をして、どちらのが厳しい、裕度があると、そういった整理ができると思っております。
0:48:21	規制庁の三浦です。今江崎が言うてる通りなんで、
0:48:26	ちょっと繰り返しになりますけども、
0:48:29	加速度比較だけしても意味がない。
0:48:31	やっぱり構造体の、
0:48:33	融度みたいなものと合わせて話をしないと、
0:48:36	そこで初めてロジックが行くクローズするので、構造体としての裕度を見るんだっつたらば、一つだと、ブレースの枚数なんかを見て、
0:48:46	これで必ず体力余裕があるというのも一つだし、
0:48:50	体力オクは静的解析で耐力加えて、その時の応力余裕を見たのを見てみるのも一つだし、そこにとにかく一つワンポイント、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:00	そういうロジックが入ってこないと、全体として構成が成り立たないと思いつつも思いますので、その辺のところをちょっとお願いしたいと思います。はい。中国電力、ヨシツグです。
0:49:12	おっしゃる通り、今概略だけの、ちょっと評価だけをしておりましたので、そもそもの構造物は持っている体力といいますか保有力といいますか、誘導。
0:49:22	のところを、この家からDの断面に対してですね、それぞれ比較をして、
0:49:28	江藤外力等設定、
0:49:31	適切な断面を選んでいるということをご説明させていただきたいと思います。以上です。
0:49:39	はあ機の規制庁のハットリです。
0:49:55	規制庁の服部です。1点だけちょっと今の話で確認させていただきたいんですけど、
0:50:00	教授クジャク時空で二つに分けるとすると、
0:50:05	DDとBが同じ方向ということになるんですね。
0:50:10	BBてかたっぽがーその頭を、
0:50:14	非常にこうごうなあ、コンクリートで抑えられてますよね。
0:50:21	だから何となくイメージ的にはほとんど揺れないイメージ。
0:50:25	ですね。
0:50:26	一方でDの方は、両方とも不利なので、それなりに売れるイメージなんですけど、
0:50:33	これってー。
0:50:35	応答的には、どちらかというDの方が厳しくなりそうな感じなんですけど、
0:50:44	そんなことはないんでしょうか。
0:50:48	はい。中国電力ヨシツグでございます。ちょっとご質問の趣旨を確認させていただけたらと思うんですが、B断面の方の片方が、
0:50:58	固定されてるっていう趣旨がちょっと理解ができなかったんですけど、
0:51:03	規制庁のハットリですえっとですね。
0:51:06	B断面の場合は、
0:51:10	ちょっと待ってください断面のところにあるんですけど。
0:51:15	ごめんなさい。どこの10ページでしたっけ。
0:51:22	余るような丸で、
0:51:28	規制庁の服部です。10ページの、
0:51:32	左側の口、065っていうところありますよね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:36	ここで
0:51:39	研究変形を拘束するようなモデルにしてるんじゃないんですって。
0:51:46	はい。中国電力吉住です。それは
0:51:50	植野重田の部分が、
0:51:52	こちらのCvのところを固定しているのではないかとご質問でしょうか。そうです要するにフレームでフレームで組むと。
0:52:04	ラーメンみたいなあって、左上のところは、
0:52:11	鉛直ローラーになってんのかな、鉛直ローラーか固定かわかんないけど、そういうようなモデルで振ってるのと、
0:52:17	そこを固定しないで古野では、
0:52:21	大戸学校、
0:52:22	固定しない方のDの方が、何となく行為揺れやすいというイメージが、
0:52:27	ありますけど、その点についてはいかがでしょうかという話をしています。中国電力吉見です。ちょっと今回の資料ですねその指標の考え方のところ、特に固定部分と稼働部分というのが、
0:52:40	ちょっと代表の絵は載せてはいるんですけども全体的にどういうものになってるかって、ちょっとご説明が足りてなかったんで、ちょっと今後、ご説明、追加でさせていただこうと思うんですけども。
0:52:51	今服部さんのおっしゃられた左側のところの部分可動支承、
0:52:56	この絵で言いますと、
0:52:59	右と左には動くような、可動支承と水平になっておりまして、ただ紙面の上下には動かないような固定になっております。
0:53:08	で、江藤征これこの資料の右が失礼いたしました。真ん中に支柱が二つあるやつの方、支柱。
0:53:19	の方は、今度は固定になっておりまして、通常の数値の方が固定型側
0:53:27	ローラーじゃないんですけども、水平移動する市場というような構造になっております。
0:53:34	そうですね 34 ページの方に、
0:53:36	書いております。で、
0:53:40	今羽鳥さんおっしゃられた、D断面、南北方向に切るところは、おっしゃられる通りこれは両方、固定稼働
0:53:50	ここ、
0:53:52	失礼しましたB断面でいきますと、
0:53:55	今おっしゃって今度は、もう1個右側の方の市営と支持杭のところは、両方とも固定になっておりまして、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:05	一番東野兄弟のところは今度また水平で、濃く支障になっていると、そういう構造になっておまして、
0:54:11	ですので今、この 10 ページいきますと、30304 分って書いてある支柱のところ、
0:54:18	どちらかというが一番厳しい構造になっていると考えております。ちょっとその辺りも、今わからない、ちょっとご説明しないとわからないところでございましたので、そこは
0:54:30	追記をさせていただきたいと考えております。以上です。
0:54:33	規制庁の服部ですよくわかりました。これって前回説明聞いたような気もします今城考えると、してないでしたっけ。
0:54:47	そうです。そうですね。そうですね。はい。はい。中国電力の高松ですけど、前回三浦さんからコメントいただきまして、その境界条件というか接合部のモデル化条件のところを説明してくださいってということで、コメント回答としてですね。
0:55:03	33 ページであったり 34 ページにそのあたりちょっとご説明したんですけど、先ほど羽鳥さんからご説明いただいたようにですね、どっち、具体的にどっち側が固定で、どっち側がかどうなのかっていうそういったところまでが、
0:55:19	追及できてないんで、ちょっと次回またそういったところは、わかりやすく更新したいと思います。以上です。規制庁の服部です。はいわかりました非常によくわかりました。私から以上です。
0:55:39	はい、規制庁チギラです。それではコメントNo. AISTなんぼ 6 に関しては、
0:55:46	はい。では今幾つか指摘ありましたので対応いただければと思います。
0:55:52	じゃ、次の説明をお願いします。
0:55:56	はい。中国電力の早田です。それでは、主要番号 5 の回答整理表の、
0:56:03	コメントNo. 7、AA断面より西側にもリード斜面が存在するため、
0:56:08	地質地質構造及び地形を踏まえた網羅性を考慮し、評価対象断面の妥当性について説明すること。
0:56:16	こちらの説明が、補足説明資料、資料番号 7 の、
0:56:21	107 ページお願いします。
0:56:31	はい。107 ページ参考資料 1 ということで、断面を評価対象とする妥当性確認について、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:40	低圧原子炉代替注水ポンプ格納槽南側の仮設最新構台は東西方向に延長がないことから、断面を評価対象断面として選定する妥当性を確認します。
0:56:52	評価方針としましては、仮設耐震構台の
0:56:55	評価対象断面であるA断面と、下の図に示しますAA断面より西側のE断面、
0:57:03	の支持杭の基部における地震応答解析結果を比較いたしました。
0:57:08	108 ページをお願いします。
0:57:13	断面の解析モデルを 108 ページに、断面を 109 ページにお示しております。
0:57:20	110 ページをお願いします。
0:57:23	確認結果です。評価対象断面であるA断面及びE断面における応答加速度、
0:57:30	クドウ比較を表にお示しております。
0:57:33	最大水平加速度最大鉛直加速度ともに概ね同等の値であることを確認しました。以上踏まえ評価対象断面としてA断面を選定する妥当性を確認いたしました。
0:57:44	以上がコメントNo. 7 の回答になります。
0:57:48	はい。規制庁チギラです。こちらについても今、先ほどあったCとDの話と、衛藤。
0:57:56	同じですね、ちょっと先ほどの話を踏まえてですねこちらの方についてもですね説明を補強していただきたいと思いますが、それでよろしいですか。
0:58:08	はい。中国電力の高松です。承知しました。現在、応答だけになっているところに、もうちょっと構造的な評価、その辺りの要素を加えていきたいと思います。以上です。
0:59:06	はい。
0:59:08	では、こちらについても
0:59:11	はい。
0:59:12	真木さんの方ですね、充実していただければというふうに思いますので、はい。よろしくお願いします。
0:59:21	さっきの継続なんですね。こちらも継続で登録についてはそれに加えてですね幾つかコメントできましたので、そちらについても対応していただければと思います。
0:59:34	はい。それでは次、お願いします。承知しました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:59:40	はい。中国電力の早田です。それでは資料番号 5 回答整理表の、コメントNo. 8、
0:59:48	上部工及び接続 5 部について、評価対象部位の選定の妥当性を説明すること。
0:59:56	こちら、回答欄にNo.7 コメント回答と同様と記載しておりますがこちら誤記でございまして、正しくはNo.12 となります。
1:00:07	あわせてNo.12 コメント、道路供試放射における、生協の
1:00:13	照査項目及び構造細目について網羅されていることを説明すること。
1:00:19	なお省略する場合はその理由を説明すること。こちらの解答欄につきましてもコメントNo. 3、
1:00:28	コメントと同様と記載しておりますが正しくはNo.8 となります。次回以降適正化させていただきます。
1:00:35	併せまして資料の説明箇所ですが、
1:00:39	通しページ 20 ページと、111 から 117 と記載しておりますが、こちら正しくが、
1:00:46	122 から 127 となります。次回以降的、適正化させていただきます大変失礼しました。
1:00:54	こちらのNo.8 コメントNo.12 コメントにつきまして、資料番号 7 の 122 ページから説明させていただきます。
1:01:15	はい、122 ページが、参考資料 4。
1:01:19	評価対象部品の選定の考え方についてです。
1:01:23	仮設耐震構台は、重田桁受け受けた水平材斜材及び支持具により構成され、
1:01:29	重田に締結された復興場による正面を有する。
1:01:33	鉄骨構造物であり、仮設。
1:01:36	構造物の公共として設計しております。
1:01:40	設計に用いる指針等につきましては、
1:01:43	道路供試放射の公共変及び耐震設計編を主に適用しております。
1:01:49	道路供試保証に規定されている公共としての調査項目、照査及び検討項目について、網羅し得ることを確認するとともに、耐震計算書で示している評価対象部位選定の考え方について整理いたしました。
1:02:04	2 ポツですが、道路供試放射に記載されている公共としての評価及び、
1:02:10	検討内容と、仮設耐震構台の設計において実施した内容を整理した結果、
1:02:16	123 ページ以降の表にお示しております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:21	内容といたしましては 122 ページの 2 ポツ 1 から記載しております。
1:02:26	道路供試放射の網羅性についてということで、架設最新構台の設計は、道路供試放射に記載されている内容について、
1:02:35	2 ポツ 1 の 2 段落目以降の内容を除き、網羅しており、構造細目についても満足した材料を使用しております。
1:02:44	こちらは表 1 にニジュウマル及び丸でお示しております。
1:02:50	仮設耐震構台の下部構造は、岩盤に支持されており基準地震動 $S_s$ の地震力による耐震性を確保することから、
1:03:00	支承部の破壊により上部構造の落下に至ることはないと判断し、上部構造の落下防止対策の検討及びラッキョウ防止システムの設置を省略いたしました。
1:03:12	また、仮設構造物であるが、供用期間中は維持管理を実施することから、耐久性及び疲労設計の検討を省略いたしました。
1:03:22	こちらは表にバツでお示しております。
1:03:26	2 ポツ 2 ですが、設工認図書で示す評価対象部位については、波及的影響の観点、及びアクセスルートの通行性の観点から、主要な構造部材として、
1:03:38	手芸た受けた水平材斜材及び主事部位を選定しております。
1:03:43	こちら、こちらの文章で一部誤記がございまして、
1:03:47	主な評価対象部位としては桁受けは選定しておりません。次回以降適正化させていただきます。
1:03:56	設工認図書においては主要な構造部材の照査結果を示しており、その他の評価部位である支承部、体系高及び横坑の部材設計、
1:04:07	連結部については、道路供試放射に基づき、実施基準地震動 $S_s-DA$ $S_s-N$ 湾の地震力による照査を自主的に事業者で実施しております。
1:04:19	こちらは表に丸でお示しております。
1:04:22	以上が、コメントNo. 8 と、コメントNo.12 の回答となります。
1:04:31	はい。それでは今説明がありましたコメントNo. 8 と、十人に関して確認する点がある方お願いします。
1:04:40	ちょっと待って。
1:04:56	規制庁の江寄です。
1:04:58	えっとね、No.8 も、No.12 も一緒なんだけど、
1:05:04	いわゆる
1:05:05	断面をまず着目すると。
1:05:09	まずね、どこだったかな。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:05:12	31 ページ、31、1 ページ、通し番号ぐらいで書いたと思うんだけど、
1:05:21	31 ページじゃない。中込さん。
1:05:36	31 ページは、
1:05:39	で、
1:05:42	どっかでモデル化省略するって書いてある。
1:05:48	と、評価部位の不足ってことで 79 ページか。
1:05:52	79 ページで、まずこのA断面に関して言うと繁田受けて、水平部材斜材。
1:05:59	においてはって話で、操作を行うって話になっているんだけど、
1:06:05	基本的に断面に関しては確かどっかでシーケたとかは、基本的には省きますって書きちゃってるよね。
1:06:12	いわゆる 31 ページ戻ってもらうと、この郷原で言っている 5 張り要素のところに関しては、十分な剛性を持っているので、
1:06:22	いわゆる
1:06:24	評価対象部位から外しているって話があるんですけど、それはちょっと受け入れがたいなと思っていて、
1:06:30	なぜならばその剛性がかたいからといって、強度が、荷重に対してね、
1:06:36	何かが足りてないと、さっきからね。
1:06:39	だから、強度があっても、荷重が大きいやそのもの壊れるんで、それをちゃんと説明すべきだと思う。基本的にそんなに、
1:06:47	強度が低い。
1:06:50	Vだとは思ってはいないんだけど、基本的には、適合性審査に、
1:06:56	という観点で考えたときに、そこにグレーゾーンがあってはならないと私たち考えていますので、しかもこのモデルからすると、図 3-6 を見ていただくと、
1:07:06	これ 5 ビームを置くってことは、少なくとも例えば、
1:07:09	まちづくりとかここに書いてある計算してる水平材。
1:07:14	ここにオフ化する変位変形はこの 5 義務で押さえ切ってるわけだから、基本的に言うと、そこが壊れれば下も壊れちゃうわけだよね。
1:07:25	だからそういう観点がずっと 5 梁要素に含まれてるものっていうのは、
1:07:29	少なくともこの主要な耐震要素でもあるんだよね。
1:07:33	なので、そこ、強度を評価を、
1:07:37	をと健全性評価を省くことにはならないんだと思う。
1:07:42	前言ったのは
1:07:44	ないことわかってって言うてるんだけど、努力仕様書の中で、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:07:48	十分にこうだったら、共同計算しなくていいって書いてありますかってそういうことなんだけど、書いてないでしょって話。
1:07:56	うん。
1:07:57	なので、今回はちょっと、
1:07:59	回答が残念な回答になっているっていうことで、そこはちゃんとね、検討して欲しいんだよね。
1:08:06	だから、試験、例えば断面でいえば重田受け、
1:08:10	桁を受け、受け入れたが損傷した場合にどうなるかってことも考えて検討して欲しいので、磯層ならば、やっぱり今言った、
1:08:20	三つの要素、まあ、それだけじゃないかもしれないけど、評価対象部位として評価必要があるんじゃないかと思っています。
1:08:28	ここからコメントしますけど、
1:08:30	各断面、
1:08:32	格段年の、
1:08:34	全部Vの、
1:08:37	荷重の伝達機構。
1:08:40	期待する役割。
1:08:43	設計上の扱い方、
1:08:46	例えばだけど、構成は考慮するけども、強度アンゼンガワニ考慮しないっていう考え方もあるかもしれんけど、そういったこともろもろ含めてです。
1:08:56	そのパッケージの取り扱いということを明確化
1:09:00	して、上でですね、それらを踏まえて、
1:09:04	評価対象部位の選定、
1:09:07	を行って、
1:09:10	その次に、
1:09:13	設計条件、
1:09:15	と方針。
1:09:17	モデル、括弧してモデル化。
1:09:20	評価方法、表現回答。
1:09:23	括弧閉じるを再整理していただきたい。
1:09:27	だから、これって背力の伝達事項とか、どのような観点で設計してるかと皆さん、
1:09:34	基本設計からっていうかほんと計画から入ってるからわかってるんだけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:09:38	我々はまずこれ、なかなかね、内容がわからないっていうことも含めて、まず適合性の観点で、
1:09:45	何をもって適合しているかということ、を判読することが非常にいい厄介な資料になってるかわからない資料になっちゃっているのだからそこはちゃんとですね、
1:09:56	埋め合わせてください。
1:09:58	そちらとしてはもう時間ももあるので省きますっていう気持ちがあるんですけど、我々としてはやはりそれは、
1:10:06	これは
1:10:08	きちっと、その後の、
1:10:10	後続のものに含めて継続、引き継ぐ必要がありますんで、ここはきちっと、白尾。
1:10:19	適合性のあることをしっかりと確認させてください。
1:10:23	よろしいですか。
1:10:27	はい。中国電力の高松です。コメントの趣旨は承知しました。ちょっと確認というか、私、いたこいただいたコメントの認識が、
1:10:38	合ってるかっていうところでちょっと9ページを見ていただいてもよろしいでしょうか。
1:10:45	はい。9ページですね、真ん中辺りですね上部工詳細断面①部というふうにございます。で、
1:10:55	我々の方ですね、今回この断面で5バリーでモデル化してる範囲がですね、この受けげたって書いてあるところからですね、
1:11:05	上の方にあるシュベ。
1:11:08	他って書いてあるこの受けたの方から重田の上端、ここまでが5張りっていう形でモデル化してます。で、今いただいたコメントの趣旨っていうのは、この中にも、応力も発生するし、荷重も当然、
1:11:20	慣性力によって伝達されると、ということなんで、その荷重の伝達機構を考慮して、どこが弱部となり得るのかどこに、照査部位として、評価対象部位としておくべきなのかっていうのを考えて、ちゃんと必要なところは、
1:11:34	評価をなささいというふうなそういう趣旨かと思いましたが、いかがでしょうか。そうです、基本的に。
1:11:40	十河リーム出戻り化してる部分です。横方向、水平部材としては下が年桁とかいろいろあると思うんですけど。
1:11:47	それを合否で求めて応力評価をここでするのか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:11:51	ここから見ると受け型の方がすごく剛性が高く、
1:11:55	そこで下の柱、柱材を、の変形拘束をほとんどしているというふうに考えて、
1:12:02	敷けたの農協強度。
1:12:05	今期待しない方が安全側だといえるのであれば、それも一つかもしれないし、
1:12:11	やり方はいろいろあると思うんですね設計だから。
1:12:14	超保守的になっては誰もそうだよなって思うような超保守的な検討であればそれで済むのであればそれもすごいのかと思いますし、
1:12:21	基本的に言うともまずその前に、
1:12:25	この仕方と役割だとか、いろんな話。
1:12:28	荷重がどういふふうに伝播してって考えて、
1:12:31	この解析モデル、評価をする、評価方法まで含めてやっていこう、一貫通貫で設計としてのね。
1:12:39	ストーリー性をどう考えているのかというのがまずわかるようにしていただいて、その時にその評価部位はどこで、すれば、
1:12:49	今回波及的な影響ということだけですけども波及的な影響をもたらさないような状態になり得るのか、ていようなロジックをしっかりとわかるように、
1:12:57	組合くみ上げて欲しい。
1:12:59	ただ少なくともさっきA断面においては、上の部材がどう解析モデルAを変えないのであれば、
1:13:06	基本的には
1:13:08	上部の部分をもどのように設計する、応力評価状態になるかってのを示していただかない限りは、
1:13:15	適合性の判断はできませんねってということですね。
1:13:18	はい。中国電力の高松です。ありがとうございますコメントは承知いたしました。
1:13:25	ダムのですね、この南北方向の自動化でもってですねこの5バリーないといえますか、5張りの各接点での加速度応答とか、こういったデータは取得しております。なので、
1:13:36	そういった加速度応答を使って実際その連結部材のですね、は、各は部材に発生する応力であったり結合部に発生する応力を、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:13:46	深度設定とかをして、評価するという形はできるかなと考えておりますんで、ちょっとまずはその辺り整理して評価を進めていきたいと思います。以上です。気をつけて欲しいのは、下のは、柱材、
1:13:59	から伝播するものもあるでしょうから、不そこの部分も加味してちゃんと、
1:14:05	対整合性のある計算をしていただければ結構です。
1:14:12	はい、承知いたしました。
1:14:15	続いてね、今断面で話したんだけど、さっき言ったのが、
1:14:21	各断面の全部行ってるので、
1:14:24	当然そのBB断面も関係してくるんですけど、BB断面に関してはちょっと、
1:14:30	特殊な構造をしてますよね。例えば 10 ページで見えていただくと、
1:14:34	支承部っていう部分があって、それは
1:14:38	B断面の東西方向ってか断面見ると右のところ、兄弟があってグラウンドアンカー止めているし、左の方は、これ、どういう形の方なんですけど、
1:14:50	纒纒郷になってるのか、回転子をリリースなんてわかんないですけど、いずれにせよ速度が高くて、
1:14:57	という話ですよ。
1:15:01	そこですよ。
1:15:06	まずB断面における、この東側及び西側の支障部の構造仕様を明確にしてください。
1:15:15	というのは、ゴム支承使ってますよね、多分。
1:15:18	断面図で言うと、11 ページの一番上ですか、これ何も書いてないけど五味所ですねこのAからすると、中国電力の高松です。すいません。ちょっと話の途中で
1:15:29	衛藤さん 15 ページを見ていただきたいんですけど支障ブーのところについてちょっと解説をさせていただきます。
1:15:37	通しページの 35 ページのですね、
1:15:40	これもまた真ん中の図のですね詳細図、って書いてあるところです。
1:15:46	はい。こちらの上げたのですね、下の部分を拡大したようなところが、この詳細図Aになってございまして、それぞれですね、左側右側から上げたが伸びてきて、接しているっていう、
1:16:02	拡大部分になってますんで、その下にですね支障分、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:16:05	の構造を示しております、先ほど江崎さんにおっしゃっていただいたゴム支承構造というのは違ましてここはBで、
1:16:15	Bの方ですね。
1:16:17	Bのところも、ちょっとお待ちください。
1:16:22	35 ページのね、詳細図Bっていうところは、これは明らかに法務省的なものに載ってるよね地区の詳細図Bの方が、ちょっと図面がよなくて、
1:16:34	実際はこの詳細図の左側、
1:16:38	この可動ブロックって書いてあるような形になっております、水平方向はフリーの状態になっているっていう状況です。
1:16:47	業務じゃない構成の支障になっております。はい。
1:16:51	麻生です。はい。スペース清野さ。
1:16:54	五味市長じゃないけどスティール性の差あるじゃん。逆に言うと、
1:16:59	古藤なんでしょうね。うん。
1:17:02	あ、そうです。
1:17:05	水平方向は拘束していないという形になっております。
1:17:10	水泳方向は拘束しないんだよね。だから、逆に言うと、それとともにその反力が生まれるわけだよね。そういった気候がわからないよね。
1:17:18	それをどういうふうに解釈、解析モデルに反映してあって、最終的に評価方法はどうすんのっていう、
1:17:26	話だよね。
1:17:28	評価の評価もしなきゃいけないんだよこの勝負っていうのは、
1:17:31	基本的には、建設省で決まっている。
1:17:35	その規格機があるでしょう。
1:17:38	果樹。またその期待する役割に対して、確かそういったやつで、道路便覧とかいうやつかなんかで決まってるんですよね。企画が。
1:17:48	うん。
1:17:49	そういったことでどのように、これらが設計されているのか、設計保証されているのか。
1:17:56	ですよ。それをちゃんと説明しないとイケないんだと思いますんでね。
1:18:00	言ったのはまずそういう構造仕様、明確にするってのはそういうことであって、
1:18:07	続きますけども、うん。
1:18:10	この東側に、東側において、引田菖蒲兄弟グラウンドなんかがありますね。
1:18:18	うん。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:18:19	これ間の伝達荷重の伝達機構とはどうなってますかかって実態的に、
1:18:25	次の説明、明確にした上で、
1:18:28	その荷重の伝達機構を考慮した設計の考え方。
1:18:32	及び方針を各部に期待する役割を含めて整理して説明すること、ちょっとさっき言ったことをちょっとかぶってしまうんですけど、ここはちょっと特にわからないところなんで、
1:18:43	設計にどのように反映してるのかわからない。
1:18:45	西側についても同じで、西側って
1:18:49	ここで言うと、イイダいいっていう詳細Eというところで、そこは何かどうも剛結合っぽいんだけど、
1:18:57	これ繁田から受けた、M24Vまでの力の伝達に対して、
1:19:03	比嘉氏さっき言った東川と同じような、整理をしてくださってということですね。
1:19:11	よろしいですか。
1:19:14	はい。中国電力の高松です。30、35 ページをお願いします。
1:19:21	はい。こちらに今断面図ですね、支承部の構造を示してるんですけどなかなかこれだけだと、この構造がわかりにくいと思いますんで、
1:19:32	ちょっと3次元的なですね、構造の絵をもうちょっとわかりやすくしたいと思います構造については、そのように対応したいと思います。で、この詞章部っていうのは先ほど江崎さんもおっしゃっていただいた通り評価するようになってるということで、
1:19:44	我々の方でもント時評価はしておりますので、その結果はお示しさせていただきますと思います。最後モデルとかですね、設計上どう扱ってるのかっていうところは34 ページを、
1:19:56	見ていただきたいんですけど、
1:19:58	こちらですね、部材で、すいません表の3-3になります。
1:20:04	この表の3-3の主げたと受けげたって書いてある表の一番上にあるございますけど、ここがいわゆる指標分になります。で、
1:20:14	手芸た兄弟括弧東側って書いたのが、次のページで3の9の(1)の衛藤東兄弟のところの主要部
1:20:24	の扱いになります。解析モデル上は、こういった形で、結合方法がV固定で、それぞれです。
1:20:34	教授方向に稼働したりですね、強軸方向も固定したりとかっていうのが場所によって異なりますのでそれに応じた解析モデルの接合条件ということで、Mp結合の鉛直だけであったり鉛直及び水平であったりと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:20:47	そういったのを、解析モデル上は設定しております。そのあたりもちよつと次回ですね、ちゃんと伝わるようにお示したいと考えております。以上ですよろしく申し上げます。
1:20:56	これ全部ずっと続いているんで。
1:20:59	コメントが、そうね。ええ。
1:21:03	このBB断面、
1:21:06	D、36 ページから見っていくと、詳細図Eっていうところを見ると、
1:21:12	基本的には
1:21:14	受けが受けたですねH700。
1:21:17	等、その下、
1:21:20	本多これM。
1:21:23	確か 6Vかなくてね 24 のね。
1:21:27	この 24-6 号と打って行って、それらを基本的に支えてるんですよ。
1:21:35	うん。
1:21:36	結局はあその設計が必要なんじゃないかってことでそうしたときにねまず必要なり町っていうかね李町って、
1:21:44	計算されてるんだと思うんですよ。
1:21:46	時間降雪の中に必要でしょう。
1:21:51	そうです。
1:21:52	その値について、いわゆるこの受け取ると、
1:21:56	M24Vの根入れ長について、
1:21:59	解析上のモデル化方法。
1:22:02	と、
1:22:03	を含めて、
1:22:04	評価方法、
1:22:06	結果を説明してくださいってことですね。
1:22:10	評価結果まで含めて、はい。ちゅ
1:22:15	そうですね。
1:22:17	はい。中国電力の高松です。解析のモデルというところで言いますと 34 ページの先ほどの、
1:22:25	表の 3-3 になりますけども、こちらですね表の下から 3 段目になります受け入れた括弧西側と置換コンクリート括弧西側っていうことで、
1:22:37	構造としては接合方法が埋め込みになっているので、共有節点でいうことで、溶かしていただいておりますけど、今おっしゃったような必要

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	な入れ長が確保できているのかとか、そういったところの評価結果はまだお示しできてないんでちょっとその解析の結果ですね、
1:22:52	そこの応力状態といいますか、入れ長も含めて確認しまして、改めて次回付着等多分個別だから、あと引っ張り、
1:23:01	引き抜きセンターの方が、
1:23:03	一応機運を強度大きいだろうけど、そういった検討はしてくださいねっていう。
1:23:09	必要なものは、はい。中国電力の高松です。ちょっと確認したいと思います。以上です。ございます。
1:23:17	全部連続性で続けて言いますけど、
1:23:21	BB断面における東田しょうぶについて、さっき言った今日限界の設定だとか、
1:23:29	あと、
1:23:34	若生西川さんと東側ね。
1:23:38	豊富。
1:23:40	基礎地盤の支持力っていうのが、鉛直支持力だけじゃなくて滑り、
1:23:44	もう見なきゃいけないって、
1:23:47	それは
1:23:49	荷重としてかからないんであれば、いらないうって話になるかもしれないんだけど、
1:23:54	通常、アンカー。
1:23:56	が打ってあるからずーっと反力があるようには見えてしまいますんでね。
1:24:01	そうすると、
1:24:02	そういったところでアンカーを打つっていうことは、通常の橋梁の設計においては、水平力は主を、
1:24:08	いわゆる
1:24:11	東野菖蒲っていうか、いわゆる兄弟にかかるので、兄弟自体がず。
1:24:16	滑り落ちないことを確認しないといけないんだよね。
1:24:20	うん。
1:24:22	うんで
1:24:24	そういった目のね、鉛直子女着て水成横滑りし滑りの話で、
1:24:31	ずっと、
1:24:33	支承部の健全性評価方法結果を整理して説明してください。
1:24:38	またその西側において売り方と、さっき言った、これはいいんだな。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:24:44	もうさっき言いましたんで西側にと同様に東側の
1:24:50	兄弟を含めた菖蒲含めの安全性というのをね、
1:24:54	どういう設計に基づいて、考え方に基づいてやっているのかによっては既往限界とか全部説明しなきゃいけないんで一応一通りコメント出しておきます。
1:25:08	はい。中国電力の高松です。35 ページで、今ほどいただいたところと言う東側の兄弟のところですね、こちらの今回の結果のご説明はL型のこの兄弟の鉄筋コンクリート構造の健全性といえますか。
1:25:24	通常の曲げせん断の評価っていうところで止まっておりますので、先ほど言われた京大の支持地盤であったりとかですね、そういったところは追加でご説明したいと思います。あと、
1:25:37	うん。うん。
1:25:39	そうですね。
1:25:40	そうですね。
1:25:41	おっしゃる通りで、浮腫系他の方と支承を介して接しておりますので、この重田の指標分のところのですね、健全性もあわせてご説明します。
1:25:52	最後グラウンドアンカーなんですけども、こちらについてはですね、今このL型擁壁のこの設計上はですね期待しない設計としておまして設計上は今、このL型の鉄筋コンクリート構造物が、
1:26:06	直で置いてあるっていうモデルで、設計はしておりますので、まずは京大の構造健全性に加えて 10 番の支持地盤の健全性、その辺りのところと、支承部の評価これを加えたいと考えております。以上です。ちょっと今、高松さんがお話しちゃったんで、次のコメントとしては、
1:26:24	あれですけど、東側の強大なブランドなんかに期待する役割っていうのは、
1:26:29	明確に記載してください。
1:26:32	期待しないということですよ。自主的に安全な技術的な位置付けで、
1:26:38	保守的にそれをつけてるということだと、ちゃんと明確化してください。はい。中国電力、高松です。承知しました。明確にいたします。以上です。
1:26:49	もうちょっと直り僕だけ話して申し訳ないですが 103 ページで、
1:26:54	等を支持力検討してる場所ですね 103 ページってこっつて、
1:27:02	支持杭の押し込み力っていうことで鉛直支持力だけ。
1:27:06	検討してんだけど、
1:27:08	当然そこへ構造見ると引き抜くに対しても気にしているので、挽肉力は、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:27:14	に関しても
1:27:17	だんだん近くの評価結果を示していただけますか。
1:27:20	0なのかもしれないけど、引張力は、
1:27:25	はい。中国電力の高松です。ご指摘承知いたしました。今実際にこの変形モードとしましては、支持柱が押し込まれる側の反対側は当然引き抜かれる側になってございますので、
1:27:39	その引き抜き側がちゃんと引き抜かれるれないのかっていうところはですね、実際すでにコメントも前回ですね、いただいております、支持地盤の支持性能のところコメントをいただいておりますので、
1:27:52	今いただいたコメントも含めてですね次回ちよつとご説明させていただきたいと思います。以上です。わかりました。
1:28:03	ほかに、宇井。
1:28:16	は、規制庁の服部です
1:28:19	綿Cが気にしてたのはエザキがほとんど言ったのでいいんですけどちよつと念のために
1:28:25	何点か確認をさ、2点ほど確認させてください。
1:28:28	先ほど江崎の方から接合部の話が出たと思うんすボルトの話が、
1:28:33	これ一般的な汎用の仮設構台のプログラムを使うと、接合部はもう出てくるもんなので、当然こういうと、
1:28:43	こういう計算上においても当然出すもんだなと私は思っています。ちよつと気にしてるのは、
1:28:49	杭のう。
1:28:50	ブレース材。
1:28:53	これが全部溶接ですよ。
1:28:56	なので、マボルトだったら少し安心なんですけど、溶接っていうのは少し安心度も下がるので、ここら辺もきちんと評価していただきたいと思っています。
1:29:07	ちよつと前回か前々回か忘れたんですけど吉本さんのところで少し話があって、
1:29:13	曲げとせん断が両方かかるようなものについては安全率を乗じて出すと、小さくなるんじゃないかっていう話もあって、私も調べたんですけど式はよくて、
1:29:24	それはそれなりにそういう意味があって、例えば両方とも0.80. 8で大きいと。
1:29:29	0.640. 64 になって、1.2 を超えてしまうみたいなそういうような、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:29:35	もので評価するものなので、実際の小さいもの出した時にさらに小さくなる分については、それは問題ないので、
1:29:44	今回のこの溶接については、おそらく曲げとせん断と両方かかるはずなんですよね。
1:29:49	なので、そういう評価はちゃんとしておいてください。
1:29:53	それが1点と、もう1点は、
1:29:57	その勝荷重に対する評価、これ参考資料4のところで、ちょっと多くのところに、その自主設計によりますよっていうふうな説明があって、
1:30:07	私の理解ではこの自主設計というのは、我々
1:30:12	事業者の方ではきちんとやってんだけど、規制庁には説明しませんというようなイメージでとらえたんですよ。
1:30:20	ただ、
1:30:22	かつ荷重に対する評価については、
1:30:24	おそらくアクセスルートの通行性という意味から、
1:30:28	これは自主設計で収まらないと思うんですね。さっき矢崎の方からリーダーについてもやってくださいって話があったんでそれでいいと思うんですけど、
1:30:37	きちんとそこら辺は、管。
1:30:39	説明をしていただきたいと思います。もし万が一、
1:30:44	通行性について、
1:30:47	損傷したとしても、複数ルートがあるので大丈夫ですってというような説明を、あんまして欲しくないんですけど、するんであれば、そこら辺をきちんと書いていただきたいと思いますが、
1:30:57	基本的には、
1:31:02	うんだから基本的には通行性があるですよね地中構造物が損傷したと昨日その補強の話があったじゃないですか。あれとほとんど同じような話だと思っていますので、
1:31:15	どこにつけるか、ここにつけるのかそれとも保管アクセスの方につけるのかというのは、考えていただくとして、
1:31:23	いずれにせよどこかにですねその通行性の話の勝加治の話は、きちっと説明していただきたいと思っています。よろしいでしょうか。
1:31:31	はい。中国電力の高松です。まず勝課長車両荷重、ここのところについてちょっとご回答ご説明させていただきますと、以前ちょっと別のヒアリングで羽鳥さんからそういった趣旨のコメントはいただいたのは承知しておりますので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:31:46	ちょっと我々の中でもですね、社内設計のところも確認しております、アクセスルートの層厚対象車両で最も重量の大きいのが、熱交換器代替車かな、40 数トンぐらいの車両なんですけど、
1:32:01	こちらで評価はしております。通行性上重田がこれCriticalにはなるんですけど、その車両荷重 10 億円でも十分にもつという確認はできております。
1:32:13	なので、そこについてはご説明できるものと思っておりますので、次の説明の中に何らかの形でちょっと加えさせていただきたいと思えます。で、溶接部って言われたところは、これ柱材と謝罪。
1:32:28	とか、ここあたりの接点のところかと思えますので、ちょっと改めて戻りまして設計とかですね確認しましてその応力状態とかですね、溶接部の健全性、この辺りもちょっと確認して、
1:32:40	ご説明次回説明資料に反映したいと思えます。以上です。
1:32:43	規制庁のハツリですはい
1:32:45	一応コメントとしては先ほど江崎の方から、その接合部って話があったので、それで包絡されてるはずなんでいいんですけど、ちょっと念のためにせ、溶接の方もですよということだけちょっと念押しをしたということで、
1:32:58	理解をしていただきたいと思いますので特にコメントとして残さなくてもいいかなとは思っています。
1:33:04	あと、勝課長の方については今回、
1:33:07	自主せん。
1:33:09	自主で設計するみたいなことが書いちょっと書いてあったから少し気になっただけで、これもきちっと説明するという。
1:33:16	うん。
1:33:19	126 ページをお願いします。
1:33:24	主げたについて車両荷重による検討を事業者で実施って書いてあって、
1:33:29	この事業者で実施っていうのは、おそらく説明しないっていう意味かなと私はとらえたんですね。
1:33:37	なので、聞いています。以上です。
1:33:43	はい。中国電力の高松です。事業者で実施した部分ですね、次回資料にはご説明したいと思えます。以上です。
1:33:54	はい。辻田チギラです。
1:33:56	今の

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:33:58	コメントの 8 番と 12 番に関連して確認する点ある方、いらっしゃいますか。
1:34:04	すいません。ちょっと私、1 点ですね先ほどの
1:34:09	何番の⑦の資料の 33 ページ。
1:34:13	のところで、先ほど剛梁でモデル化するっていう話があつてですね。
1:34:20	この 33 ページ、妥当だ面積が出ていて 5 割なので、断面積、1000 倍ですかね。
1:34:29	にすると、
1:34:30	江藤下の方、曲げ剛性の方は駄目にモーメントはどんな形で、
1:34:37	モデル化
1:34:38	考え方ってされてるのかっていうのを書き、
1:34:42	聞きたかったのが 1 点と。
1:34:44	あと、
1:34:47	これも 5 針でモデル化した応答を、
1:34:50	があつて、接合部とかですねある部分の 1 のそのを使って評価するというお話だったんですけど、
1:35:00	それで問題ないかっていうその 2 点についてちょっと確認したいんですけど。
1:35:13	はい。中国電力の高松です。33 ページの一つ目のご質問のちょっと曲げ剛性の剛性設定、物条件設定のところはですねちょっと今日即答できませんので、
1:35:25	改めて確認してですね、資料にてご説明したいと思います。で、次回、に向けてお示しする今回の 5 バリーの範囲内の評価の手法が、その加速今の解析の応答から抽出した、
1:35:40	もので良いのかっていう、そういう応力照査という形で良いのだろうかというそういう趣旨で、
1:35:49	よろしいでしょうか。
1:35:51	今のままの郷有井をモデル化をした、解析の結果を使うのかそれとも 5 割のところの条件をたちを見直して、
1:36:00	再解析等してそれでやるのかっていうところは、今
1:36:07	ていうそういう方法もあると思うんですけど、仮に
1:36:12	その 5 針モデル化した場合っていうのは結果を使って評価するっていうのは問題がないのかっていう。
1:36:21	ところはいい。ちょっと完熟というかですね考え方を聞きたかった。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:36:25	はい。中国電力ヨシツグです。ちょっとやり方も含めて、今後また、きちんとモデル化した方が良いのかも含めてちょっと検討はさせていただこうと思いますので、
1:36:35	ご配意で出てきている方が剛性高いもので出ているので、
1:36:40	し静的震度で評価するような部材っていうものについては、おそらく、そちらの保守的かどうかというところはあると思うんですけども、そんなにおかしな値として設計ができないとは思ってないです。で、
1:36:54	ただ、ちょっと対象部位も含めてですねもう1回
1:36:58	荷重伝達構造等含めたときに、今の5入りのものを使っていいのかどうかというのをもう一度ちょっと整理をしてですね、改めてモデル化もするかどうか含めてまた、
1:37:08	後日ご回答させていただけたらと思います。
1:37:12	はい。わかりました荷重伝達の話で必ずしも他に、
1:37:18	素行じゃなくて違うところはですね逆に課長評価なってる可能性もないとも言えないと思いますのでその辺もちょっと整理してですね。はい。また
1:37:29	いただければというふうに思っております。
1:37:32	他、よろしいですかね。
1:37:34	はい。
1:37:35	ではすいません今、8番と12番のところまでできましたので、次の、はい。
1:37:41	回答の方をお願いします。
1:37:51	はい。中国電力の早田です。それでは甲斐
1:37:55	資料ナンバー5の回答整理表をお願いします。
1:37:59	コメントNo. 10の解析モデルの境界条件を境界部の詳細と合わせて妥当であることを説明すること。
1:38:07	こちらにつきましては31ページ。
1:38:11	からご説明いたします。
1:38:14	資料番号7-31ページです。
1:38:20	はい。黄色のハッチングでお示しております。構造部材の接合条件について、
1:38:26	水平材斜材及び主事ぐいは、部材同士を溶接して一体化しており、主事食いと受けた間は補強材を介してボルトで固定していることからご議決としております。
1:38:38	断面の接合条件を、32ページ、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:38:42	にお示しております。
1:38:45	表の 3-2 で、お示しております通り、
1:38:49	水平材支持ぐいと、謝罪支持杭については溶接、
1:38:55	固定しておりますので解析上纈纈としております。
1:39:00	支持杭と受けたにつきましては、
1:39:06	下の図。
1:39:07	ですね、詳細部にお示します通り、
1:39:12	補強材により補強してボルト固定をしていることから、ご議決としております。
1:39:18	33 ページをお願いします。
1:39:23	BB断面の構造部材の接合条件については、し黄色、
1:39:28	の下のところですね溶接部及び部材による補強を行っている箇所は固定度が大きいため 5 結としました。
1:39:36	その他の箇所については部材間の固定または可動の構造を踏まえ、二重接点のNPC結合としております。接合条件を 34 ページに表でお示しております。
1:39:50	34 ページ。
1:39:52	にお示しております表 3-3 ですが、重田桁受けと繁田兄弟の東側、
1:40:01	につきましては、35 ページ。
1:40:04	の真ん中の詳細税にお示します通り、可動ブロックと周座もしくは固定ブロックと首座により接合していることから、
1:40:14	二重接点のNPC結合で実態に合わせて鉛直方向のみの場合と鉛直方向及び水平方向を結合したモデルとしております。
1:40:27	桁受けと受けた。
1:40:30	それと、受けたと支持ぐいに、
1:40:33	つきましては、
1:40:36	36 ページ。
1:40:37	の方ですね。
1:40:39	詳細図シート、詳細図dにお示しております通り、
1:40:43	補強材により補強していることから、5 結としております。
1:40:49	続きまして水平材支持ぐい、し謝罪支持杭につきましてはこちら、溶接固定としておりますので解析上も纈纈。
1:40:58	としております。
1:41:00	で、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:41:02	受けげたの西側と置換コンクリートの西側につきましては、36 ページの詳細図委員にお示しております通り、埋め込み、
1:41:13	による接合を行っておりますので、こちらは、共有節点にしております。
1:41:18	同じ詳細図の支持ぐいと、水平材料材。
1:41:23	水平材料材と置換コンクリートにつきましては、
1:41:27	M24 のボルトを固定をしておりますので二重接点のNPC結合としております。
1:41:34	以上が、コメントNo. 10 の回答になります。
1:41:39	はい。規制庁チギラですそれでは、今の内容について確認するとある方お願いします。
1:41:48	規制庁の三浦です。
1:41:51	この間ちょっと境界条件だけ示されたので、図で、
1:41:55	示してくださいということで、
1:41:58	かなり細かく書いていただいたんで、
1:42:00	もうこの公開条件でいいんじゃないかなというふうに私は思いました。
1:42:03	それで、ちょっと幾つか確認をさせてください。33 ページ。
1:42:10	ここで5 張り要素二つありますよね上に載っていて、そこで、
1:42:15	主げたが連続してますけどここは連続させるんですか。
1:42:21	中国電力のハヤタですすいませんこちら、図があまりよくなくてですね手芸他動詞は連続してませんで棒針の
1:42:30	真ん中の辺りで、切れている構造になっております。わかりました。なるほど。
1:42:36	例えば 41 ペイジー見てくると、やはりこれ連続した線でモデル化されてるので、
1:42:42	これからに誤解を受けると思いますんで、明確にしておいてください。
1:42:46	中国電力の早田です。はい。こちらは適正化させていただきます。
1:42:50	それと、あと先ほどから出てくる、二重接点のNPC結合。
1:42:56	これちょっと説明していただけますか中身。
1:43:01	はい。中国電力の原田です。こちらにつきましては、
1:43:05	接点をふたII持った状態でですね例えば鉛直方向、
1:43:11	のみ、
1:43:12	の場合は鉛直方向に同じ動きをする、鉛直方向及び水平方向ということであれば、鉛直方向と水平方向を、二つの設定が同じ動きをするという
1:43:24	はい。モデルになっております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:43:27	その二重接点脳切片二つはエヌ・ピー・シーで接合されてるっていう理解でいいですか。
1:43:34	はい、ご理解の通りです。それで、
1:43:38	自由度を拘束する。
1:43:41	接点とあとは部材としての接点っていう理解でいいですか、それをエヌ・ピー・シーでつなげて、境界条件と部材の、
1:43:49	何だ、石鹸をかな、共有させるって意味での二重結論。
1:43:55	二重接点のMpシーケそこ。
1:43:58	という理解でいいでしょうか。はい。中国電力の早田です。ご理解の通りです。これ少し説明をしといた方がいいですね。
1:44:05	あまりこう、この言葉そのものが、どういうことを言ってるかっていうと、少しわかりにくいところがあるので、
1:44:13	ちょっと概念図なんか入れてね、少し説明しておいていただくと良いと思います。境界条件の取り方として私それであったと思いますので、はい。中国電力の高松です。ありがとうございます概念図を挿入するなどしてちょっとわかりやすく説明追加したいと思います。以上です。はいお願いします。
1:44:29	それとちょっと、直接の境界書面と絡まないんですけども、
1:44:35	40 ページとか 41 ページに解析モデル図出てますよね。
1:44:41	これの奥行き方向の考え方ってどういう考え方されてるんですか。ちょっと根本のことなので確認をしておきたいんですが。
1:45:03	うーん、いや、何を言ってるかいうとね、例えば 40 ページ見ると、これは AA断面の解析モデル図ですよ。ここで、
1:45:12	代替注水ポンプ格納槽の右にある仮設構台のモデル化というのは、謝罪水平材とかってリアルなものでモデル化されてる。
1:45:23	じゃないですか、リアルな部材が。
1:45:27	進まずそうですかっていう質問です。
1:45:37	はい。中国電力の原田です。はい。その通りでございます。そうするとね、例えば、今、この断面っていうのが、
1:45:46	断面って、これと同じような加工が三つあるんじゃないかな。
1:45:54	すごい、どっかしちゃったかな。
1:45:57	その並びで杭がこう連発打たれて、
1:46:07	そうですね。例えば断面で見た時に、ここを
1:46:13	なんかこう見、
1:46:15	断面の比、何とか左下の方に、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:46:20	4 段の杭が 3 列並んでますよね。
1:46:23	その、今、例えば 9 ページの右上ってというのは、断面で 1 加工を取り出してますよね。
1:46:32	そうですね。
1:46:33	0
1:46:35	この過去を取り出したときに、
1:46:37	他のモデル化とか、この加工の負担、エリアの見方、
1:46:44	その辺がね。
1:46:46	わかりませんね、B、Bもそうなんですよ。B断面も同じなんです。旧北方向に対する考え方。
1:46:53	これが一切記載されてないので、どういうふうになってますこれ。
1:47:00	はい。中国電力の羽田です。まずA断面については、
1:47:05	主GET間の真ん中までですね、
1:47:11	手芸高の真ん中同士なんで、タケダ 1 本分、
1:47:16	の重量を、支持杭 12 本で受け持つような荷重を上部工のところに入れてるっていう。
1:47:23	ことになってます。
1:47:25	それがね多分それがちゃんと素直だと思えばそうすると、
1:47:29	その 9 ページの右上で書かれたところの水平部材とか、
1:47:34	斜材っていうのはこれ三本も入れてる。
1:47:39	いや、今のイメージは、多分言われたのは、
1:47:42	この三本を、はい、8 ページのね。
1:47:46	上で書かれている、その 4 本の杭が並んでる加工が三つありますよね。
1:47:51	それを重田間の半分半分負担エリアとしてここに出してるって言われたんじゃないの。
1:47:58	そうすると、
1:47:59	9 ページのモデル化で示されているこの加工については、
1:48:04	その三つの加工分を足し合わせたものを入れてないとおかしいんじゃない。
1:48:09	どうしてますそれ。
1:48:35	花田。
1:48:37	それを、
1:48:39	これちょっと細かく書かないと。
1:48:44	今でも地盤なんか 1 メーター分出戻り化されてるんだよね。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:48:49	そうするとここにかかってくるもう単位負担分にしないとおかしいんじゃないの。
1:48:53	単位メーター分に、今のちょっと御説明筋がないかな。
1:48:58	毎年そういうふうにしてる。
1:49:01	全部
1:49:02	部材も分で割り戻してんの。
1:49:05	はやってない、弱い。
1:49:19	そう。
1:49:22	いやそれ本当、本当精密に言うちょっとおかしいな。
1:49:26	うん。
1:49:28	そうしかないやり方がないのかもしれないけど、
1:49:32	うん。
1:49:34	むしろ、だから、今言ったように三本を一つの組としてやって、
1:49:39	重田間を取り出してそれを単位面積に全部割り戻してやって、
1:49:44	本当は部材構成をそういうふうに入れておくべきなのかもしれないけどね。
1:49:50	うん。
1:50:05	やり方はわかりました。おそらく、そんなに結果に差異が出てこないと思うので、
1:50:11	この解析方法でいいと思うんですが、少し丁寧その奥行きのお考え、これ全く書いてないので、
1:50:20	ちょっと、
1:50:21	本当はね、こういうやり方がいいかっていう話あるんだけど、建築的に見るバー等のね、稼働とかそこ出してって、いたるところでしょうね。
1:50:35	うーん。
1:50:37	一緒にしちゃってるからねこれわかりにくいんですよ。本当に、
1:50:41	わかりました。
1:50:43	もうやってしまってるんでおそらく結果としては、決して非保守側の結果にはならないと思うので、ただ丁寧に、
1:50:50	奥行きのお考え方等を説明をしてください。はい。中国電力の高松です。承知しました。奥行き方向の荷重負担のお考え方モデル化のお考え方、そのあたりを記載拡充させていただきます。以上です。
1:51:04	規制庁の服部です。
1:51:06	今の点についてちょっと1点だけ、ご相談というか、確認をお願いします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:51:12	例えば 41 ページなんかに
1:51:16	モデル図があるんですけど、
1:51:18	ここ可動支承のところに、
1:51:23	ローラーみたいな、丸々みたいなものを書くっていうのは、
1:51:30	都合悪いですか。
1:51:33	おそらくなんだろう。5 番のところのところの間の、
1:51:40	線を消しますよね。
1:51:42	多分、今のミウラの方の確認で、
1:51:45	何でついでと言っちゃ申し訳ないんですけど。
1:51:48	もしそれが都合が悪くなければ、そうしていただくと、ここは稼働だっ ていうことが非常にわかりやすいと思うんですがいかがですか。はい。中 国電力の早田です。そうですね接合方法については、モデル、
1:52:02	図上でわからないようになってますんで、いただいた意見を踏まえて修 正したいと思います。
1:52:07	はい、承知規制庁のハツリですはいよろしく申し上げます以上です。
1:52:22	はい。室長チギラれず、コメントNo.10 に関してはよろしいでしょうか。
1:52:29	はい。
1:52:32	それでは、ここについても幾つか指摘が
1:52:36	なので、はい。そこについては対応していただければと思います。では 次のコメント回答お願いします。
1:52:46	はい。中国電力の早田です。それでは資料No.5 の回答整理表のコメント No.11 についてご回答いたします。
1:52:55	まずコメントの内容ですが、低圧原子炉代替注水ポンプ格納槽の東側 の埋め戻しコンクリートの安定性について説明すること。
1:53:04	こちらが、資料ナンバー7 番。
1:53:07	ー118 ページ。
1:53:09	からご説明いたします。
1:53:17	118 ページからが、参考資料 3 ということで、
1:53:22	仮設再診構台と低圧原子炉代替注水ポンプ格納槽との間の埋め戻しコ ンクリートの安定性についてのご説明になります。
1:53:32	仮設耐震構台と、
1:53:35	注水ポンプ格納槽との間には、下の図にお示ししております通り、
1:53:40	埋め戻しコンクリートが存在し、当該埋め戻しコンクリートが損壊するこ とにより、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:53:45	仮設耐震鋼材に影響を及ぼすことが想定されることから、埋め戻しコンクリートの安定性を確認いたします。119 ページをお願いします。
1:53:59	埋め戻しコンクリートの安定性評価においては、当該埋め戻しコンクリートが、岩盤と低圧原子炉代替注水ポンプ格納槽との間に、
1:54:09	2メートル程度根入れされていることから、地震応答解析により、当該埋め戻しコンクリートに発生する応力増が、
1:54:17	本文の置換コンクリート、西側に対する許容限界に示す、許容限界以下であることを確認し、安定性を評価いたします。
1:54:27	解析モデルは、120 ページにお示しします低圧原子炉代替注水ポンプ格納槽の地震応答計算書及び耐震性についての計算書に関する補足説明資料の評価対象断面に、
1:54:43	評価対象野田対象である埋戻しコンクリートをモデル化した解析モデルといたします。
1:54:49	121 ページをお願いします。
1:54:54	確認結果を表と図でお示しております。せん断破壊及び引張破壊に対する局所安全係数が 1.0 を上回ることを確認しました。
1:55:04	以上より仮設耐震構台と低圧原子炉代替注水ポンプ格納槽との間の埋め戻しコンクリートの安定性を確認いたしました。
1:55:13	以上が、コメントNo.11 の回答になります。
1:55:17	はい。規制庁竹田です。それでは今野社長について確認する点お願いします。
1:55:42	はい。規制庁の仲村です。
1:55:46	ちょっと 1 点だけです、確認させてください。で、今の説明でですね、埋め戻しコンクリートの安定性評価っていうことでせん断破壊とか引張りの、
1:55:56	破壊のところの検討というのをさせていただいたんですけども、
1:56:00	前回の説明の時ですね、この種コメントしたのは、本来、
1:56:08	思ったのが転倒するんじゃないかなって感じのイメージでコメントしましたんで、
1:56:15	それですね、
1:56:18	ただ今回の説明のところで 119 ページのところの文章のところとかでですね、2メートル程度、根入れされておるっていうことがこの辺とか、
1:56:29	が書かれてるんですけども、考え方のところの前提として確認したいんですけど、根入れされてるっていうことで、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:56:40	伝統とかそういうのがないっていう前提で、それであればコンクリートのせん断とか引っ張りとかっていうのを評価したんですよ。
1:56:50	という考えてよろしいんですか。
1:56:54	はい。中国電力の早田です。先ほどおっしゃられた内容の通り考えております。はい。
1:57:02	はい、わかりましたじゃ、このコメントについてはですね、理解しました。ただ、できればですね、
1:57:10	ちょっとその辺がわかるような評価方針のところですね、検討の検討が必要ないということとか、あと、せっかくなんでですね 119 ページの 2 メーター程度で入れっていうところも、
1:57:22	要するに岩盤に根入れされてるっていうことで、
1:57:28	検討っていうことを考える必要ないっていうところも大事なかなと思うのと、あと、図のところに、
1:57:35	2 メーター程度の根入れとかそういうところが、絵から読み取らないとわからないんで、ちょっとその辺は記載を充実っていう形で進めていただければと思いますけど。
1:57:48	はい。中国電力の羽田です。先ほどいただいた指摘踏まえて、資料の適正化したいと思います。はい。私からは以上です。
1:58:04	はい。
1:58:05	はい。
1:58:13	規制庁の服部です。ただいまの件について、ちょっと確認なんですけど。
1:58:18	121 ページのところが一番大きく書いてあるんで見やすいんですけど。
1:58:23	このメモのうちコンクリート等、この低圧原子炉注水代、
1:58:27	ポンプの格納槽の境界部のところにはこれジョイント要素って入ってるんですか。
1:59:02	中国電力のタカマツです少々お待ちください。
1:59:28	すいません。
1:59:29	はい。
1:59:34	中国電力の早田です。こちら、
1:59:38	格納槽と埋戻コンクリートの間にジョイント要素を入れております。はい。
1:59:43	規制庁のハツトリですわかりました。
1:59:45	ちなみに、
1:59:47	これ、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:59:49	変形図見たときに、先ほど仲村の方の店頭って話が少しあったんですけど、とんでもないこう、
1:59:55	変形量がドーンと出てるようなことってないことは確認されてますよね。
2:00:01	はい。中国電力の羽田です。こちら、
2:00:05	仮設耐震構台側にですね、確か約 2mm 程度変位するということで確認しております。
2:00:14	磯野ハットリですはいわかりました私から以上です。
2:00:22	規制庁の谷口です。ちょっと教えてください。
2:00:28	今回ここに入れてる埋め戻しコンクリートを、こういう高さのもので、これだけの幅のものを、
2:00:37	細田なく入れる。
2:00:39	ていう状況になってるんですけど。
2:00:42	これはそもそもどういうものをどういう目的で入れてるものなんですか、私コンクリートの範囲って。
2:00:49	はい、中国電力ヨシツグでございます。
2:00:52	そもそもこの左側の原子炉注水ポンプ格納槽を作る時にここ、
2:00:59	ちょうどこの埋め戻しコンクリートの右側東側なんですけどそこに土どめを打って、掘り込んでおりました。
2:01:07	そのあとに、江藤安全対策工事ということでこの右側の方を掘削するということになりまして、その土どめを撤去して、新たに
2:01:18	これよりさらに東側右側の方に新たな土どめを作って掘ったということで、もともとはその土どめかを埋める。
2:01:27	戻した時のコンクリートだったんですけども、そのの、さらに東側が 9 空洞ができてしまったというちょっとすいません施工上の都合でそうなっているというものでございます。以上です。わかりましたそうすると、
2:01:41	残ってたものの周知をするために残したってということですかイメージは。
2:01:47	ちょっと
2:01:48	なぜこんなものがあるんだろうなと思ったので、その趣旨がちょっとわからなかったんですけど、それで、実際問題としてそういうことでいうと、
2:01:58	転倒という事象は起こらないってということになるんですね。
2:02:04	はい、中国電力の人見です。
2:02:06	先ほどもちょっとご説明した岩盤内にコンクリートを打ち込んでいるのが、2 メーター以上ちょっと織り込んでおりますで、ちょっと我々も気になったので今回解析までやってみたんですけどもやはり岩盤トレイのと

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	ころに一部引っ張りとかせん断出てるんですけどもそこが倒壊して倒れてくると。
2:02:24	いうことはないということと先ほど早田が言いましたように原因もわずかということで、影響ないというふうに考えておりますです特に平均のことは特にここに書いてないんですけど、先ほど言ったような話変形のも、
2:02:38	どんなものとなって、この程度だったっていうのはやっぱりどっかに記載をしておいていただければと思いますけれども、いかがでしょうか。
2:02:47	はい。中国電力の高松です。変形量の記載について承知いたしましたので、追記したいと思います。はい。よろしくお願いします。以上です。
2:03:04	はい。規制庁の千明です。11、コメントナンバー10 金に関しては、はい。よろしいですかね。
2:03:11	はい。
2:03:13	それでは仮説対人構台で他に説明する点があればお願いします。
2:03:20	はい。中国電力の高松です。それではですね、今回BB断面の結果をですね前か1月27から比べて、解析結果を
2:03:32	追記しておりますので、適正化とあわせてこの後ちょっと早田の方からポイントをご説明させていただきます。
2:03:39	はい。中国電力の早田です。それでは資料番号5番。
2:03:45	の3ページをお願いします。
2:03:51	3ページに記載の適正化箇所を記載しております。
2:03:55	主なものとしては、ナンバー9、
2:03:59	ですね、評価対象断面Bに関して追記しましたということで、前回構造等はお示しておりましたが、結果について、
2:04:09	お示しておりませんでしたので、
2:04:12	主なところで88ページから、
2:04:16	ご説明いたします。
2:04:20	資料番号7の88ページです。
2:04:26	88ページから、BB断面の評価結果ということで、
2:04:30	各部材、
2:04:33	と、あと、京大東側。
2:04:35	置換コンクリート西側の
2:04:39	評価を行っております。
2:04:41	で、構造部材において最大の照査値となったのが、
2:04:46	支持杭の曲げに、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:04:49	なります。
2:04:51	ページとしては 91 ページ。
2:04:54	になりましてS <sub>s</sub> -D、
2:04:57	に対して小冊子 0.3、0.63 というのが最大になりました。
2:05:03	B断面の結果につきましてすいません。資料の修正になるんですが、S <sub>s</sub> -N II のNSとEWの結果が、
2:05:14	逆にBB断面についてはなっておりますので次回以降、適正化させていただきたいと思います。
2:05:22	はい。適正化に関するご説明は以上になります。
2:05:30	はい、わかりました。
2:05:32	それでは今の説明も含めてと。
2:05:35	この耐震仮設抗体ですね。
2:05:40	すいません仮設大臣交代。
2:05:43	資料全体として確認する点がある方お願いします。
2:05:53	規制庁の服部です私から 1 点だけ確認をさせていただきます。
2:05:58	7 番の資料の 22 ページをお願いします。
2:06:13	規制庁のハツトリですあれ、22 ページじゃないな。
2:06:18	ごめんなさい 25 ページです。
2:06:23	ここの中ほどのところ 2、
2:06:27	埋戻し炉については、
2:06:29	地盤のひずみ依存性を適切に考慮できるよう、
2:06:33	多重せん断ばねを用いている子を用いることとして書いてるんですけど。
2:06:38	この多重せん断ばねっていうのは、
2:06:42	これ、どういうもので、
2:06:44	これってどっかに、どういうものかっていう説明ってありますか。
2:06:51	はい。中国電力の羽田です。ちょっと、どういったものかっていう記載は資料の中にできておりませんが、
2:06:58	FLIPで言うところのマルチスプリング要素に当たるものです。はい。
2:07:07	規制庁の服部です。具体的に例えばモデル図、どれでもいいんですけど 45 ページでも何でもいいですけどたまたま開いたから、
2:07:17	これで、多重せん断バネ。
2:07:21	というのは、
2:07:24	これはあれか。
2:07:29	非線形の非線形んん。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:07:32	マルチスプリング要素みたいな、
2:07:37	過剰せん断ばねっていう要素があるってことですか。
2:07:39	そういう要素がある。
2:07:56	あ、規制庁のハツリです。マルチスプリングばDの要素のことを言ってるってことですか。わかりました。ちょっとどういうものなのか、ちょっと初めて出てくる言葉かなと思ったので、
2:08:09	ちょっとどういうことなのかなって説明をいただこうと思います。
2:08:12	と思ったんですけど。
2:08:57	規制庁の服部ですはいわかりましたちょっと盗まれて書きかえてもいいかなと一瞬思ったんですけど、ちょっとそこら辺は検討していただきたいと思いますんで、
2:09:07	よろしくお願いします。
2:09:10	はい。
2:09:14	わかりました。よろしくお願いします私から以上です。
2:09:23	規制庁大橋です。
2:09:25	54 ページ、54 ページにデイリー減衰のことが書いてあるんですけど、
2:09:32	例えば上のA断面のレーリー減衰の図面だと、
2:09:36	ターゲットの二つの周波数 $\omega$ 湾が大体 2.5Hzで、 $\omega$ II が 5Hzで、
2:09:44	その周波数で、
2:09:46	減衰定数を 3%っていう設定のグラフになってるんですが、
2:09:51	一つは、この赤いレーリー減衰のグラフと雇用地解析結果と、ちょっとばらつき、
2:09:58	離れが大きい、フィッティングがあまりよくないのかなっていう。
2:10:02	ように見えまして、他の構造物だと、もうちょっとうまくフィッティングされていたイメージがあったんですが、
2:10:11	これで
2:10:14	こういう値解析結果の方が、
2:10:16	レーリー減衰の赤いグラフよりも減衰定数小さくなってるので、
2:10:22	ここか減衰みたいな解析結果になっていないのかっていうことと、もう一つがそもそも、
2:10:29	この 3%の設定の根拠ですね。
2:10:33	例えば後 10 番目の資料だと、開閉所の防護液位の評価をやってて、
2:10:40	その床応答を見ると 1%day。
2:10:44	出してるんで、
2:10:46	その防壁がですね。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:10:48	支柱とかがセットプレートとか出てきてるものが、
2:10:52	1%day。
2:10:53	の減衰を考えてるんだらうなっていうこともあるんで、
2:10:58	以上ですねフィッティングの話と、3%の話についてちょっと説明をお願いしたいと思います。
2:11:44	はい。中国電力の早田です。
2:11:48	こちらのフィッティングにつきましてはちょっと、
2:11:53	48 ページ 49 ページのところ、
2:11:56	二次として採用してる次数ですね、
2:12:02	これが刺激係数が大きいものを選んだ結果が、こちらの
2:12:07	後ろの 54 ページのグラフのようになっておりますので、
2:12:11	そうですね。
2:12:18	そういったルールというか決めに基づいて選んでるものになります。
2:12:24	あと 3%の話っていうのは、すみませんちょっと資料のどこのことを言われてたのかももう一度よろしいですか。
2:12:35	レーリー減衰の二つの周波数ポイントを決めるときに、これ一次が 2.46 Hzで、25.01Hzだっていうのが、
2:12:46	ちょっと前の方のページに書いてあると思うんですけど、48、
2:12:51	ページですね。
2:12:53	その周波数を、
2:12:55	今回のもモデルの一次二次だっていうことにしていますよね。そこでグラフから読むと、周波数に対して、この赤いレーリー減衰のグラフが 3%になってるんで、
2:13:08	おそらく小令和その周波数で 3%だっていう設定。
2:13:14	だっていう、関係に書いてないですけど、このグラフからはそう読めるということです。
2:13:28	はい。そうですね。基本的にはおっしゃった通りで
2:13:36	Aとし、
2:13:37	48 ページで言うところのですね、各こういう振動数ごとのCケースを確認してフィッティングカーブを引いてですね、
2:13:48	それで、今は一位と 5Gのところ、
2:13:53	CSが高いということで、
2:13:57	この 54 ページで言うところの、
2:14:00	生理減衰を設定してるっていうのは、
2:14:04	のようにやっております。BB断面についても、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:14:08	同じくそういった考え方でやっておりまして、モード図も見た上で、そういうふうにご設定しております。
2:14:16	大橋です。
2:14:17	フィティングの話は、ちょっとばらついてる。
2:14:22	結果については、刺激係数が小さいので、こればらつきは、そういう解析結果に、
2:14:28	影響しないだろうという、判断しているということで理解しましたけれども、
2:14:34	レーリー減衰の
2:14:37	減衰定数をどうするかって話は、
2:14:41	一般的には解析しようとする構造部つうの。
2:14:47	の減衰定数を入れていくっていうのが一般的かなと思うんですけど。
2:14:53	今回の場合は、
2:14:55	甲斐関井対象が、
2:15:00	仮設広大なので、仮設香田飯野、鋼材の減衰を異例減衰の値を入れてもいいのかなと思いますし、
2:15:13	ただ、レーリー減衰、
2:15:15	一つしか入れないので、解析モデルの全体形として、3%が妥当なんだろうという、そういう判断もあるかなと思いますので、その辺のちょっと考え方を説明していただければいいかと思います。
2:15:31	はい。中国電力人見です。
2:15:37	このモデルで出てルーものとしてはほとんどが岩盤の状態です。岩盤が今3%になっておりますのでそれが出てくるというのが正直なところだと思います。
2:15:55	この部分についてはおっしゃられるところもありますのでちょっとそこは、もう少し考察をきちんとさせていただけたらと思っております。はい。
2:16:24	はい。中国電力吉住です。ちょっと影響も含めてですね、検討してまたご回答させていただけたらと思います。
2:16:38	規制庁大橋です。
2:16:40	最初に10番目の資料の開閉所防護へ気が1%じゃないかっていうのは、
2:16:49	設備なんかは、溶接Ⅱ。
2:16:52	を使って、
2:16:53	作られてる。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:16:55	メタルの構造設備なんかは 1%っていう具合にやってるんでそこまでは、
2:17:01	いかないだろうと思いますし、
2:17:04	道路供試褒賞も線形計算の場合は、
2:17:07	メタルの支柱橋脚は、3%が標準みたいなことも書いてあるんで、そんなに広くはないと思うんですけど、影響について考察できるんだったら、
2:17:19	お願いしたいと思います。
2:17:21	もう一つですね。
2:17:23	57 ページなんですけど、
2:17:26	べ、別のコメントで 57%、57 ページに、
2:17:32	解析ケースがあって、地震動の入力位相としては、プラスプラスっていうことになってて、
2:17:39	その理由として、上の方の文章で、
2:17:43	概ね左右対称の構造物であることから、水平動の位相反転の影響は小さいっていう具合に書いてあるんですけど、
2:17:51	今回、さっき言ったように、全体的なモデルルーで評価しているので、
2:17:57	地盤だとか、隣接構造物を考えると、
2:18:01	モデルとしては左右非対称とはちょっと言いにくいかなと思いますんで、
2:18:08	そんなに影響ないと思いますけどここはちょっと、記載の仕方を、
2:18:14	もうちょっと考えて欲しいなと思います。
2:18:22	中国電力の高松です。承知しました 57 ページの、左右対称をですかね。うん。この記載についてちょっと適正化を図りたいと思います。以上です。
2:18:34	規制庁オオハシです以上です。
2:18:46	はい、規制上チギラです。仮設大震法体について、
2:18:55	確認する点あるって方いらっしゃいますか。
2:18:58	よろしいでしょうか。
2:19:00	はい。
2:19:01	ではすみませんちょっと時間も大分経ちましたのでここで一旦休憩入れたいと思いますので、はい。それでは一旦録音を停止いたします。
2:19:12	はい、規制庁チギラです。それでは再開いたします。続いての説明項目は保管アクセス、他学部のコメント回答となりまして、
2:19:22	ええと、
2:19:24	資料はこちらで事前に確認しております。今回、都丸。
2:19:30	8 番のコメント、回答整理表のところの、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



2:19:35	3 ページと 4 ページ、これは許可からの申し送り事項なんですけどこれは今までの説明で今回反映されたという理解でよろしいですか。はい。
2:19:45	中国電力の高松です。おっしゃる通りです。はい。であればこちらの 161 番と 162 番については了といたします。はい。
2:19:56	すべてヒアリングコメントが 1 件あったと思いますので、
2:20:01	そちらについて何か説明する点ありますか。
2:20:07	はい。中国電力の高松です。それではコメント回答整理表のですね、18 ページをお願いします。
2:20:20	はい。
2:20:21	で、コメント番号 125 ページが 525 番になります。
2:20:27	前回の 3 月の 15 日のヒアリングでですね、重油タンクナンバーワンツースリーの水防収益については、アクセスルートの周辺構造物であるとともに溢水防止へ来なので、
2:20:42	水防収益の観点を踏まえて許容限界を設定することということで、今回回答欄にも記載しております通り、水防収益の曲げ軸力系の破壊に対する強限界ということで、
2:20:53	短期許容応力度で、調査し直した結果をお示しております。説明としては以上になります。
2:21:02	はい。規制庁の千明です。はい。こちらについては補足のほうで説明内容も確認しておりますのでこの内容、回答内容で結構です。
2:21:12	それで他アクセスについての適正化等はありませんか。
2:21:18	はい。中国電力の高松です。1 点だけちょっと補足適正化の観点でちょっとご説明をさせていただきます。
2:21:28	補足説明資料になりますので資料番号で言うと、10 番になります。
2:21:37	で、10 番の資料のですね、25 ページになりますけども、
2:21:46	前回ですね、壁フーチングの変形のご説明をした時にですね、日置田井の真壁家通でもって、衛藤変形を見ますっていったところを、
2:21:58	チハラの方からだと思いますけど、ゴムジョイントを設置しているのでゴムジョイントの変形量でっていうご意見、コメントをいただいたのに対して、今回
2:22:08	ゴムジョイントの許容変位っていうことで、200 ミリっていうことで、これを反映しましてゴムジョイントが設置されてますっていうふうな構造図もですね、その資料のですね、
2:22:29	1018、18 ページですね、こちらに構造をお示しさせていただきました適正化としましては以上になります。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:22:39	はい。規制庁チギラです。はい。それでは今の適正化も含めてですねこの他学説の治療に関してですね、確認する点ある方お願いします。
2:22:53	規制庁の三浦です確認だけです。
2:22:57	資料 10 番の 29 ページ。
2:23:01	ここでの残留変形量を求められて、
2:23:04	今先ほどのあれですよ。
2:23:08	止水ジョイントの話がされたんですが、この残留変形量ってどここの残留変形量、どの時点の山で、残留変形量とらえてるかちょっと教えてください。
2:23:22	中国電力のサダタニです。壁の方と壁の勝負の相対変位んでして
2:23:31	映画で、地震終了時の変位をとっております以上です。
2:23:37	わかりました。それちょっとそう説明をちょっとしとさせていただきます。
2:23:43	どこのポイントに真壁から何とか部長たんですよ。その残留変形量を相対変位として考慮したということで、それを説明ちょっと加えておいてください。
2:23:53	中国電力のサダタニです。承知いたしました。
2:23:56	はい。
2:24:01	ちょっとタニグチ一つ確認させてください。
2:24:06	先ほど話があった 18、18 ページの節イメージのところの話ですけども、
2:24:13	概略断面図の中にVPキャップとかCウエキ版って書いてあるんですけど、これは何ですか。
2:24:30	はい。中国電力ヨシツグでございます。
2:24:33	こちらはですね、
2:24:35	まず冷え基盤っていうのは、
2:24:39	防油堤でよく使われてる油が流れ出てこないように目地の部分にこれは追随性はないんですけども、
2:24:47	地震等ではなくて漏えいした時にこのページのところに、そもそもあるべき私益版ということの影響、水を止めるというようなものでございます。
2:24:58	slipバーと書いてありますのはこれ
2:25:02	ここのせん断のための鉄筋を入れておまして、そのために入れてい るものでございます。今回耐震
2:25:11	にずれる。
2:25:12	イメージが出るということも考えまして、その外側にゴムジョイントをつけたと、そういった構造になっております。以上です。基本的にここは評価の対象になるような部材じゃないってことでいいんですよ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:25:24	はい。おっしゃられる通りでございます。
2:25:27	はい、わかりました。あともう一つ、25 ページ目のところに、ゴムジョイントの許容変位の 200mmが書いてありますけど、
2:25:35	これはどういう時実験かなんかの結果かなんかがついてるんでしょうか。
2:25:44	中国電力のサダタニですこちらのメーカーのカタログで示されている許容変位になります以上です。特に何か実験の結果とかそういうものじゃなくて数字が書いてあるだけってことですか。
2:25:58	中国電力のサダタニですその通りでございます。はい、わかりました。中国電力吉尾少し補足させていただきますメーカーの方で実験をされておりまして、その
2:26:08	止水性として担保をとっているというものがこのメーカーのカタログ値として載っているものでございます。以上。はい、わかりました。しました。
2:26:19	はい。
2:26:21	確認いたしました。ありがとうございました。
2:26:28	規制庁のハットリです私から 1 点記載だけ。
2:26:31	11 ページお願いします資料番号 10 番の、
2:26:36	今回黄色いのがついていて、記載の適正化をしていただいたんですけど、
2:26:41	1 点だけ確認なんですけど、
2:26:43	最初の、
2:26:44	補強プレートはっていうところの文章で、
2:26:48	道路供試補助に基づきって書いてあって、
2:26:52	重ね合わせてスミニク溶接で接合してるって書いてあるんですけど、
2:26:56	道路供試保証人は、
2:26:58	こういうスミニク溶接Dフランジに鉄板を重ね合わせて補強するようなやり方が書いてあるっていう理解でよろしいですか。
2:27:08	中国電力のサダタニです。そのご認識の通りでございます、後半、
2:27:15	フランジに重ね合わせる方法が詳細に記載してありましてその溶接方法もそこに記載がありましてそれに従って今回施工しているという状況でございます以上です。
2:27:28	規制庁のハットリそれ溶接のところ重ね溶接とかそこら辺の話のことを言ってますか。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:27:37	中国の中国電力のサダタニですその通りでございます連続スミニク溶接で接合するということが記載されてございます以上です。規制庁のハットリですはいわかりました私からは以上です。
2:27:56	はい。1日ぐらいです。保管アクセス関係で確認する点他によろしいですか。はい。では規制側からの確認は以上といたします。
2:28:06	それではここで人の入れ替えがありますので一旦録音を停止いたします。
2:28:14	はい。規制庁チギラです。それでは次の耐震計算書、
2:28:19	について説明の方を、
2:28:24	こちらはあれですかね、まず第、
2:28:28	B、
2:28:29	ペイントフィルターからだと思いますが、
2:28:35	はい。
2:28:36	こちらについてはコメント回答1件ですかね。
2:28:39	はい。
2:28:41	衛藤、11番の資料のところでコメント回答ありますので、
2:28:49	こちらについて簡単に、はい、じゃあいいですか説明をお願いします。
2:28:54	はい。中国電力の吉本です。衛藤。
2:28:57	71の資料6番のコメントなんですけれども、これは、
2:29:02	斜面が追加対策工事で、改良地盤がありますが、この第1ベントフィルタ格納槽の解析においてはそれをモデル化してないんですが、
2:29:12	衛藤安全対策当時工事に伴う掘削箇所会社の改良地盤なので、その影響は軽微ですということを、参考資料で追加させていただいてます。以上です。
2:29:22	はい、わかりました。ではこのコメント回答に対しては、
2:29:27	はい。はい、ではこの内容と結構ですので了といたします。
2:29:32	次ベントフィルター適正化とありますか。
2:29:36	はい中国電力のヨシモト1件だけ説明させていただきたいです。資料14の138ページをお願いします。
2:29:54	138ページこの構造物教授方法については坂解析、4.5底盤やってますけれども、ここで水平部材の絵と荷重の抽出について記載をしております。
2:30:06	2ページ後にですね、鉛直加速度の

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:30:11	その町坂野分布方向における大きさが書いてあるんですけども、この解析ケース 4 から 6 頭七、八の傾向が違うんじゃないかっていう指摘を前回いただいてまして、改めて確認したところですね。
2:30:23	解析ケース七、八で、
2:30:25	本来鉛直を取り出すところを水平を取り出してたというものがあって、ちょっとそこを適正化させていただきました。もともと、3.2G程度だったのが、今回 1.8 時程度に、
2:30:37	となっておりますので、裕度としては改善する方向になってますので、結果としてNGになるものは、出てきておりませんこちらのチェック不足で大変申しわけございませんでした。説明は以上です。
2:30:48	はい。今の内容についてははい、了解いたしました。
2:30:53	それでは第、
2:30:55	イベントフィルター格納槽に関して、規制側から何か確認する点ありますか。
2:31:01	よろしいでしょうか。
2:31:03	はい。お願いします。
2:31:07	規制庁の三浦です。今のはそれでルーシーいいと思います。14 番の資料の、
2:31:16	100、
2:31:18	ごめんなさい。
2:31:19	156 ページなんですけど、
2:31:22	ここ黄色だ*にいるCCVの話出してますよねこれ、何かコメントか、他へこれを記載したんでしたっけ。
2:31:31	はい。中国電力の下野です。前回、江崎さんの方から、遮へいの方は建築の方のCCVも横目にということがございましたので確かに土木で今回設定する 3500 よりも、
2:31:42	厳しいものがあるので、そっちを横目に見ても大丈夫というふうには回答しております。以上です。結局これ見るとね、3500 マイクロでやってんだけど、
2:31:52	構造会社消す移転にかけてんでしょこれ。
2:31:55	発生値の小冊子の方に、
2:31:58	だから結果的に見ればほとんどコンパラってことなんですねこのCvとね。
2:32:03	ううんという見方をしましたっていうだけで、感想です。はい。
2:32:22	はい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:32:22	ではよろしいでしょうか。はい。
2:32:25	それでは第 1 ベントフィルタ格納槽については以上といたしまして次が資料のですね 15 から 18 のタービンを飛ぶ配管ダクトのタービン建物を
2:32:36	から、放水槽、
2:32:38	であります。資料の 15 番で、
2:32:41	コメント回答 1 件で、コメント移動ということなんですけど、
2:32:47	こちらについて、衛藤。
2:32:49	確認する点があればお願いします。
2:32:55	はい、ではこれコメント医療の方で説明があるということでこちらについては了といたします。
2:33:02	それでは多分建物本水槽、
2:33:06	資料の 15 から 18 にパーンしては、
2:33:10	適正化等ありますか、お願いします。
2:33:13	はい。中国電力のヨシモトでちょっと 2 点新規で簡単にご説明させていただきます。
2:33:17	資料番号の 18 番で、118 ページをお願いします。
2:33:37	118 ページですけれども黄色で記載を拡充してまして、あと施工でCCb っていうところは照査値を 0.8 程度としますという記載が前回抜けておりましたのでこの記載と結果のところに、
2:33:49	そこに十分収まっていますということで掲載しております。
2:33:53	一つ目は、以上になります。
2:33:56	もう一つありまして、同じ資料の 206 ページをお願いします。
2:34:13	206 ページ参考資料 2 で静的地震力に対する耐震評価、こちら前の方の方針のところまで結果が記載できてなかったんですけども、結果追記しまして、整理評価についても十分
2:34:26	詳細 1 を切ってますということで追加させていただいてます。ご説明は以上です。
2:34:33	はい、わかりました。それでは事業 15 から 18 の屋外配管ダクトタービン建物放水槽で規制側から確認する点がある方お願いします。
2:34:56	規制庁の服部です。
2:34:58	70 番、ごめんなさいちょっと待ってください。
2:35:09	規制庁の服部ですごめんなさい
2:35:13	楽等に、
2:35:15	つい、
2:35:16	では、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:35:20	特にないので 770、ごめんなさい、わからくとありますんでごめんなさい ちょっと事実確認だけさせていただきます。
2:35:50	18 番の資料の、
2:35:53	236 ページをお願いします。
2:36:03	あれ。
2:36:04	ここで選挙費会則の話が出てるんですけど、これ確か前回の、
2:36:09	ヒアリングか何かで、選挙以外足を示すときは、補足説明書で示すときは、
2:36:15	せん断力分布図を、
2:36:19	きちんと書いてくださいねっていうコメントが出ませんでしたっけ。
2:36:23	要するにせん断力の差分が集中荷重になって、
2:36:29	というプロセスがわかるように、
2:36:32	せん断力分布図は入れといてくださいねって話はありませんでしたっ け。なければ、ちょっとここに追加しておいて欲しいんですけどいかがで すか。
2:36:42	はい。中国電力の吉本です。今、ご指摘いただいたページにせん断力 分布図がございませんでしょうか。
2:36:49	規制庁のハットリつ数字がないんですけど、
2:36:53	はい、中国電力の吉本です。今のせん断力分布図に対応する荷重がで すね、241 ページ、
2:37:02	資料ナンバー18-241 ページ以降に、
2:37:05	ございまして、このPワンピースⅡ、
2:37:09	として書いてますものが先ほどの断面力図と対応してましてそれぞれの 荷重が出てきてそれを足し合わせ小説として計算されているというプロ セスがわかるようになってるものと思ってます以上です。
2:37:21	規制庁の服部ですこのPWANっていうのは、あれですか。
2:37:25	加重の方ですかそれともせん断力の方ですか。
2:37:29	はい、中国電力の吉本です。千田にこの階段状の差分を荷重として、 計算しております以上です。
2:37:36	規制庁のハットリです例えば 242 ページのP値のところを見ると、
2:37:41	このP値のところのせん断力が 245kNで、その差分としてのP値という 荷重が 4.05kNだというふうに読めばよろしいですか。
2:38:00	朝、ごめんなさい 3.86 です。
2:38:03	はい。中国電力の芝です。ご理解の通り差分として出てきてるのがこの 3.86 という荷重になってます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:38:10	P値のところのせん断力は 245 ということでいいんですよね。
2:38:34	あれこれ 245 と 251 の差分がP値になるんじゃないんですって。
2:38:37	3.86 になるんじゃないんですって。
2:38:41	中国電力の石野です。秦さんの、
2:38:44	私的な意味がよくわかりましてここで設計用せん断力って書いてるのがせん断耐力の間違いで、この荷重をVBで割ってますので、こちらが耐力なので、
2:38:55	発生千歳はPの方の荷重で割る方の値がVIPになってます。だから、せん断力分布図ってのは出てない。
2:39:05	変えんないってことですよ。結局、
2:39:09	多価っていうこと。
2:39:13	はい、中国電力の吉本です。階段状のそれぞれの断面力の値は出してないですがそれぞれの差分とCPというものを書いておるといこと。
2:39:21	構成になってます以上です。
2:39:23	規制庁の八田ですわかりました。何かこの間、せん断力分布図があつて、それを踏まえてP値ってというのが差分で出てきてみたいあのプロセスがわかるように、せん断力分布図をつけてくださいねっていう。
2:39:36	確認があつたような気がしたので確認をしたと思いますがこれでもわかりますのでこれで結構です。
2:39:56	規制庁の服部ですあと 253 ページお願いします。
2:40:03	これ前から私気にしてるんですけど、
2:40:06	アンカーの引っ張り力の評価をするときは必ずPAつうのは、評価もしておいて欲しいんですけどいかがですか。
2:40:22	中国電力のヨシモト少々お待ちください。
2:40:35	中国電力のヨシモトで各種合成に基づくとですね今回の接着系アンカーボルトの場合は、引っ張りでPSっていうものは特に明記されてなくてなんで、そういう意味で落としてます。以上です。
2:40:48	規制庁の八田です。ないんですって。あれ、PAⅡがないって、何かすごく違和感があるんだけどない。
2:40:55	ないんですか。
2:40:58	わかりましたなら結構です。私から以上です。
2:41:11	はい、木崎浦です。
2:41:14	今のところの特配監督と、
2:41:17	Headタービン建物の放水槽について確認する点ある方いらっしゃいますか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



2:41:23	よろしいですか。はい。
2:41:25	それでは次の屋外重要土木構造物の題字安全性評価についてということでこちらの 19 と 20、
2:41:34	戸田医長になりまして、資料の 19 について、
2:41:39	では、
2:41:41	回答整理表です。
2:41:42	その 7 ページの 69 番についてはこれは前回、回答いただいて、
2:41:48	だと思しますので、こちらについては了といたしまして、
2:41:52	70 番ですね。
2:41:54	70 番について、
2:42:00	はい。
2:42:03	こちらについては簡単に説明いただけますか。
2:42:09	はい。中国電力の津谷です。
2:42:12	こちらは屋外配管ダクト、タービン建物から放水槽の、
2:42:16	ヒアリングの際に受けたコメントとして、入力地震動算定における構造物位置、地盤モデルについて、解析モデル下端から表層のモデル化方法を確認し、モデル化の方法を説明することと。
2:42:29	コメントを受けております。
2:42:31	ご回答といたしましては、参考資料 18 に、入力地震動算定に用いる地盤モデルのモデル化方針を記載させていただいております。
2:42:40	以上です。
2:42:44	いたしますが、参考資料 18 にさせていただいております。
2:42:51	以上です。
2:42:52	規制庁の橋場です。どうぞ、お願いいたします。規制庁の服部です。この 70 番については、この 3、
2:43:06	20 番の資料の 627 ページ。
2:43:10	ここに書いてあるというふうに理解をしています。
2:43:13	先ほど
2:43:15	コメント移動ということで、先ほどダクトのところの落とかな第 1 編、ペントフィルタでしたっけちょっと忘れちゃったけど、ダクトでしたっけ。1 次元の波動論のモデル化はどうなってるんですかって話の考え方はどうなってるんですかっていう話をしている、
2:43:30	ここに飛んでるということなの D ということだったんですけど。
2:43:34	これだと少しわかりにくいなと思っています。要するに何を気にしてるかという、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:43:43	大きな二次元のFEMモデルがあったときに、大局的に見れば大体水平成層なので、1次元のモデルって、自由地盤のモデルを大体使うようなイメージになるんですよね。
2:43:56	あくまでもその地球規模で言うとその構造物はその一部分なので、伝播してくる地震動はその影響あんまないだろうということで中地盤の
2:44:06	ものでよく使ったりはするんです。
2:44:08	その時に、構造物とMMRがあるときは、今回、中国電力
2:44:15	1次元波動論のモデルは、構造物の中心でモデル化することなので、
2:44:22	構造物等MMRはどういうふうモデル化する、どういうふう考えてるんですかっていうところの話で、
2:44:29	これはここに書いてあるように、
2:44:33	構造物の周辺の地盤状況を踏まえ、埋め戻しとまたは岩盤としてモデル化するって書いてあるんですけど、
2:44:40	具体的に、
2:44:43	埋め戻すようにするのか、岩盤にするのかという、
2:44:47	そこら辺のプロセスがよくわからないんです。
2:44:51	なので、もう少し詳しく書いてもらいたいですけど。
2:44:55	特にMMRと地盤改良と構造物は、
2:45:00	諏訪、埋戻度にしてるのか地盤にして要するに表層度にしてるのか、それとも岩盤にしてるのかというところは、
2:45:10	例示を示してきちっと示して欲しいと思っています。いかがでしょうか。
2:45:17	はい。中国電力の土谷です。
2:45:20	コメントの趣旨を確認させていただきたいんですけども、例えばこの構造物というものが、
2:45:27	ある構造物ではどのように、
2:45:29	モデル化されているか。
2:45:32	ということを、
2:45:34	事例をもとに記載をするということでもよろしかったでしょうか。
2:45:37	例えば、取水槽で参りますと、
2:45:43	構造物の周辺にはもともと埋戻し動画ございますので、埋め戻し上モデル化しております。
2:45:51	そういったことを、1例として記載させてもらうということでもよろしかったでしょうか。
2:45:57	規制庁の服部です。えっとですねえ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:46:01	と取水槽、例えば取水槽とカー落とか一番わかりやすいと思うんですけどね。
2:46:09	例えば、
2:46:28	例えばですね。
2:46:33	20 ページの資料の、
2:46:36	92 ページ。
2:46:41	このような場合はどうするんですか。
2:46:46	という話ですね例えばこのような場合で、よくあるのがここ周り。
2:46:52	人工MMRになってるのでこれはコンクリートだということでわかるんですけど周りが埋戻し動の場合、この中心でやると、脳圧MMRがあると思うんですけど、
2:47:03	そこら辺のMMRはどういうふうに考えてるんですか。
2:47:06	構造物はどう考えてるんですか。
2:47:09	という話と、
2:47:10	例えば 220 ページ。
2:47:13	にあるように、
2:47:15	例えば図の 8-1-3 の(2)にあるように、左右の、
2:47:24	地盤が変わっているときに、
2:47:26	目標とするそのダクトの中心で、モデル化、一次元の波動論のモデル化をするときに、その下のMMRとか構造物はどういうふうにモデル化してるんですかとか、
2:47:38	そういうようなところがわかるようにしていただきたいんですがあの事例を含め、
2:47:42	事例を記載して例示して、わかるようにしていただきたいんですがですか。
2:47:53	はい。中部電力の土屋です。コメントの趣旨理解いたしました。いくつか例を記載して、
2:48:00	今記載する内容がわかるように、記載を拡充したいと思います。
2:48:05	規制庁の服部ですわかりました本来であれば一つ一つの構造物に対して、1次元の波動論のモデルがあれば、それはそれで、この説明ぐらいでいいんですけど今回、
2:48:16	資料はそれがないので、
2:48:19	大枠としてどういうふうに考えてるかっていうところ、特にMMRと構造物はどういうふうなモデル化してるんだということが、例示を含めてわかるようにしていただければと思いますのでよろしくお願いします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:48:31	なのでこのコメント番号 70 については、継続といたしますのでよろしくお願い申し上げます以上です。
2:48:42	はい。杉田チギラです。それでは適正化等、説明があればお願いします。
2:48:50	はい。中国電力別所です。資料番号 20 番の資料で Ph. D. 関係で前回結果II検討築地とさせていただいた部分今回提出させていただいておりますので、
2:49:04	私から PhB の関係を説明させていただきます。
2:49:08	で、資料番号 20 番から 22 番が、これすべて Ph. D. 関係、一貫通貫の説明になりますので、三つ資料を連続で説明させていただきたいと思えます。
2:49:20	では資料番号 20 番の 405 ページ、お願いいたします。
2:49:37	はい。
2:49:38	こちらの資料 DB 関係について 3 月 3 日のヒアリングで、全体の概要を説明させていただきましたけれども、そこで薄い部材厚に対する適用性の検討としてその部分数字となっていたものになります。
2:49:56	今回、参考資料 12 の添付資料 2 ということでこの資料をおつけしております。
2:50:02	要は内容を説明させていただきます。本資料はですね、PHB により耐震補強を行った補助復水貯蔵タンク遮へい機及び、
2:50:13	トラス水受入タンク遮へい器の部材厚が、建設技術審査証明報告書に記載の実験で用いられている部材厚より薄いということから、
2:50:25	部材厚が薄い場合についても、せん断ひび割れを抑制し、せん断補強効果を期待できることを、材料非線形解析を用いた数値実験により確認を行ったものになります。
2:50:38	藤。
2:50:39	藤。続いて 2 ポツ 1 検討方針になります。
2:50:43	今回の検討の方針としましては、ステップ 1 イトウステップ 2 の 2 ステップで検討を行っております。
2:50:51	2 ポツ 1 の 1、ステップ 1 の説明をさせていただきますとまず、P1B の材料非線形でモデル化する上でのモデル化の妥当性についてステップ 1 で確認をいたします。
2:51:05	P1B は、従来工法、いわゆるフックを有する先施工のせん断補強金とは異なりまして、PHB とコンクリート間の付着により定着をしているということで、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:51:18	フックがないことを考慮して保守的な設定としまして、定着性能が従来のものをノリをとると仮定をしましてモデル化をしております。
2:51:30	1 下から 2 行目になります。モデル化方法の妥当性の確認は、建設技術審査証明報告書の記載されている実験結果を、
2:51:43	解析的に再現解析をいたしまして、実験結果と再現解析の結果が、整合的であるということと比較で確認をいたします。
2:51:53	続いてステップ 1 で確認ができましたら、ステップ 2 としまして、今回 P1 B で補強を行った薄い部材厚を想定した適用性の確認をステップ 2 で行います。
2:52:08	今回、薄い部材厚で、300mm というものがありますので、300mm に部材厚を変更した材料非線形解析を行いまして、
2:52:18	この小さな小さな部材厚に対する適用性を確認いたします。
2:52:27	3 ポツ、ステップ 1 の説明になります。
2:52:30	次ページ、407 ページに、今回のステップ 1 の妥当性確認で再現解析の対象とする、建設技術審査証明報告書の試験体の概要をお示しております。
2:52:44	408 ページお願いいたします。
2:52:48	ここからモデル化方法になります。
2:52:51	鋼材構造部材は平面応力要素にてモデル化をしております。
2:52:56	で、
2:52:59	Ph. D. のモデル化につきましては、Ph. D. の先端の領域では定着が、フックがないことに伴い、定着が不十分でない可能性があるということをご考慮しまして、
2:53:10	せん断補強金が機能しない区間、無効区間と呼んでおりますけれども、そういうせん断補強鉄筋費用をゼロとしてモデル化をすることで再現をしております。
2:53:24	409 ページお願いいたします。
2:53:28	図 3-3 に解析モデル図をお示しております。
2:53:33	父さんポツ 1 の 3 荷重条件ですが、
2:53:37	今回は、実験における裁可条件を申しまして変位を採用位置に強制変位で与えることといたします。
2:53:47	耐力の評価を主目的としますので、丹調査以下を基本ケースとしまして、ただ実験では項番最加茂でやられておりますので、項番 3 以下の影響についても確認することといたします。
2:54:01	藤 3 ポツ 1 ポツ 4 に、破壊管、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:54:04	判定基準をお示しております。
2:54:08	3 ポツ 1-5、妥当性の確認結果になります。
2:54:12	藤建設付審査証明報告書の実験結果と、今回の再現解析の結果の比較を、次ページ、410 ページの表 3-3 にお示しております。
2:54:27	一番真ん中の列が実験のせん断耐力、一番右の列が、今回の再現解析で確認したせん断耐力になります。
2:54:36	で、概ね実験の耐力を表現できておりますので、ここまでのモデル化の妥当性がここで確認できたと考えております。
2:54:46	次ページ 411 ページ、お願いいたします。
2:54:50	一番下高良の文章になります。
2:54:54	ここから、項番裁可を確認した解析の結果をお示しております。
2:55:00	1 ページ、412 ページが坂雑賀の材料非線形の結果でありまして、ひび割れ状況は部材全体に分子ひび割れが分散しておりまして、
2:55:12	同特異な状況というのは確認されておられません。
2:55:17	次ページ 413 ページお願いいたします。
2:55:23	413 ページから、従来工法を再現した材料非線形解析の結果をお示しております。
2:55:36	1 ページ 414 ページに、従来工法を想定した解析結果と、今回のpHBを、
2:55:44	想定した解析結果をお示しております。
2:55:47	従来の先施工を再現した解析は、埋め込みの無効区間を、
2:55:55	無効区間を考慮しない解析でありますので、当先施工の方が、耐力が出ているということで、
2:56:03	無効区間が解析的に有効に働いているということを確認しております。
2:56:09	415 ページお願いいたします。
2:56:14	ここからpHBの付着効果の、モデル化の妥当性の確認になります。
2:56:19	で、3 ポツ 2 ポツ 1 の一番最初の文章になります。
2:56:25	Ph. D. の付着が有効な領域は、今回鉄筋コンクリート製要素で、P1Bとコンクリートが完全付着として、モデル化をしております。
2:56:35	3 ポツ 2 ポツ 2 に、実験結果と、今回の解析結果のひび割れ状況の比較をお示しております。
2:56:44	ひび割れ状況は、全体的に整合的でした、今回の際、再現解析で良好に、この辺が再現できているというのを確認しております。
2:56:56	416 ページお願いいたします。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:57:03	ここまでのまとめを 3 ポツ 2 ポツ 3 に記載しております。ここまでの pHB の材料非線形解析におけるモデル化の妥当性を確認しております。
2:57:14	4 ポツからが、ステップ 2、小さな部材厚に対する適用性の確認になります。
2:57:21	ところから、先ほどのステップ 1 の解析モデルを、部材厚を 300 ミリに小さくした解析を行っております。
2:57:32	と 14-1 が解析モデル図になっておりまして、部材厚を 300 ミリと小さくしたモデルとしております。
2:57:42	2 ページ 417 ページお願いいたします。
2:57:47	417 ページの表 4-1 に、ステップ 2 における検討ケースをお示しております。
2:57:55	ケースとしては 3 ケースありまして、まずは従来越え先施工を想定した、丹町斎木加納解析。
2:58:03	二つ目が、B1B工法を再現した丹町斎木加納解析。
2:58:09	三つ目がP1B工法で項番最下を再現した解析となります。
2:58:16	4 ポツ後からが確認結果になります。
2:58:20	まず次ページ 418 ページから 421 ページまでが、解析結果になります。
2:58:29	いずれの結果も、ひび割れ状況に特異な状況は見られておりませんので、解析的には妥当な解析になっていると考えております。
2:58:41	少し飛びまして 422 ページお願いいたします。
2:58:48	ここからが、部材厚 300mm で、Ph. D. がちゃんと効くかというところの検討結果になります。
2:58:59	ここでの検討のやり方としましては、解析結果、解析的に算出した有効係数 $\beta W'$ と呼んでおりますけれども、
2:59:11	この有効係数と、建設技術審査証明報告書に記載されている計算式で求めた有効係数 $\beta_{aw}$ を比較することで、
2:59:22	建設技術審査証明報告書の計算式が、有効に使えるということを確認しております。
2:59:30	確認結果を表 4-6 にお示しております。
2:59:34	まず一番上の行が、解析結果のせん断耐力になります。ここにはコンクリートとせん断補強金の影響でこの 411 という耐力が出ていることになります。
2:59:48	で、ここから、方法の検討の方法は建設技術審査証明報告書と同様としておりまして、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:59:56	この解析に求めたせん断耐力 411kNから、コンクリートのせん断耐力を、引き算したものを、pHBの
3:00:07	せん断耐力というふうに定めております。
3:00:11	コンクリートのせん断耐力を今回、棒部材式とRC基準で検討しております、
3:00:21	そうですねコンクリートのせん断耐力がこの 2 行目の数字になります。
3:00:26	この一番上の行から、この 2 行目の数字を引いたものが、pHBのせん断耐力と、
3:00:32	しております。で、
3:00:34	ここから、従来工法とした場合に、棒部材式で求めた鉄筋のせん断耐力がこの 137 という数字でありまして、
3:00:46	この比をとることで解析に求めた有効係数 $\beta W'$ というものを算出しております。
3:00:54	解析的に求めた有効係数は、RC基準の方が小さくなっておりまして、棒部材式とRC基準両方を確認した場合においても、
3:01:06	この建設技術審査証明報告書に記載されている計算式で求めた $\beta W$
3:01:13	これが一番下の行になりますけれども、
3:01:16	これよりも、解析的には大きな有効係数が出ることが確認できましたので、
3:01:22	この建設技術の計算式で求めた $\beta aw$ を、設計で用いることで保守的な評価が可能であるということを今回確認いたしました。
3:01:36	ここまでで部材厚 300 ミリとした場合の妥当性の確認になります。
3:01:43	ちょっとここから、同じ話になりますので連続で行かしていただくんですけども、
3:01:49	当資料番号 21 番の資料をお願いいたします。
3:01:56	藤。
3:01:58	こちら、回答整理表になっておりまして、ここが一番下のナンバー5 のコメントになります。
3:02:06	藤 Ph. D. の定着長及び間隔について、実施工が、技術資料に記載されている適用範囲内であることを説明することと。
3:02:16	ということで、今回実施工において、Ph. D. の鷹泊が発生しておりまして、こういうものを踏まえても、ちゃんと適用性があるということを、
3:02:28	参考資料で整理しております。
3:02:31	資料番号 22 の資料をお願いいたします。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



3:02:41	資料番号 22 の資料が、先ほどの鷹泊を考慮した場合の適用性の確認に対する資料になります。
3:02:49	まず部材厚 300mm に対する適用性自体は、先ほどの資料で説明した通り確認できているものと考えております。
3:03:02	そうですね。ペース 21 ページの二つ目の段落になります。ここでは、この二つのタンクの遮へい器の部材厚が 300 ミリと小さいことに加えまして、
3:03:16	P1B が設置計画位置より鷹泊している箇所がありますので、まず構造細目の配置間隔と定着長について、
3:03:27	報告書の中の適用範囲内であることをまず確認いたします。
3:03:31	もう一つ、鷹泊を考慮した場合においても、
3:03:36	先ほどの有効係数 $\beta_{aw}$ を確認しまして、補強効果が期待できるということを、同じく材料非線形で確認する資料となっております。
3:03:48	次ページ 2 ページに、以降に、2 ページと 3 ページに、
3:03:54	タンクの配置図と、施工実績を踏まえた Ph. D. の整理表を載せております。
3:04:04	4 ページお願いいたします。
3:04:09	とまず 2 ポツ 1 では 1 感覚に対する、確認を行っております。
3:04:14	Ph. D. の配置間隔につきましては、技術審査証明報告書の構造細目として、有効高さの 2 分の 1、
3:04:23	一括 300 ミリ以下とすると記載されておまして、
3:04:27	この二つのタンクの遮へい機能、最大間隔は 115 ミリですので、有効高さ、230mm の半分というのを満足しているということをまず確認しております。
3:04:41	もう一つ、鷹泊を考慮しまして、配置間隔に関して、藤金氏を確認いたしますと、スターラップがせん断補強金として有効な働きをするためには、
3:04:52	斜めひび割れと、このせん断補強金が必ず交わるように、間隔を決めて配置する必要があると記載されておまして、
3:05:02	鷹泊を考慮した場合でも今回、最初の Ph. D. 次長が 123mm、最大の配置間隔よりも、深く入っておりますので、
3:05:13	45° 方向の斜めひび割れをそう想定した場合においてもですね、ひび割れがちゃんと交わるということを確認しております。
3:05:24	続いて 2 ポツ 2、定着長の確認になります。
3:05:29	当間図の 2-1 が、技術審査証明報告書に記載されている Ph. D. の必要定着長になります。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:05:37	これを踏まえまして表 2-1 に、定着長を整理した結果を載せております。
3:05:45	鉄筋径で 13 で 19 を使っております、同量、鉄筋系において、必要定着長を満足していることを確認しております。
3:05:57	続いて 6 ページお願いいたします。
3:06:02	2 ポツ 3 から、高富を考慮した場合の有効係数 $\beta_{aw}$ の確認になります。
3:06:11	両タンクの遮へい器は施工実績で、
3:06:17	設置計画位置よりも最大 48mm の鷹泊が生じ生じております。
3:06:23	藤。
3:06:25	一番す。ちょっとこのページの一番下のパラグラフになります。
3:06:31	今回、材料非線形で確認するに当たりまして、高まりを考慮した無効区間は、この実績における最大鷹泊 48 mm を踏まえまして、
3:06:42	次ページと 7 ページの 2-2 のと、図 2-2 の通り設定しております。
3:06:50	鷹泊実績 48 ミリ踏まえまして、保守的に鷹野割を 50 ミリといたしまして、無効区間を設定した解析を行っております。
3:07:01	1 ページ、2-8。
3:07:03	2、図 2-3 に解析モデル図をお示しております。
3:07:08	と荷重条件や、破壊判定基準等々は先ほどの説明と同じになりますので、説明を省略させていただきます。
3:07:17	次ページ 9 ページ、お願いいたします。
3:07:22	表 2-4 に、検討ケースを整理しております。
3:07:26	まず一つ目のケースとしまして、鷹泊を考慮した、誕生細管で二つ目のケースが、高富を考慮した場合の項番最下のケースとしております。
3:07:39	次ページ、
3:07:41	10 ページから 13 ページまでに、解析結果をお示しております。
3:07:46	高まりを考慮した解析におきましても、ひび割れ状況に特異な状況は、確認されておられません。
3:07:57	少しページ飛びまして 14 ページ、お願いいたします。
3:08:02	このページに、鷹泊を考慮した有効係数の確認結果をお示しております。
3:08:09	考え方は先ほどの説明と同じでして、先ほどの検討を踏まえまして、有効係数を出す際のコンクリートのせん断耐力は、
3:08:20	有効係数が安全側に算出される RC 基準として計算をしております。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:08:28	土俵 2-9 が整理結果になりまして、鷹泊を考慮した場合におきまして、解析的に求めた有効係数 $\beta_{aw}'$ が、
3:08:38	計算値として求めた $\beta_{aw}$ を上回っておりますので、審査証明報告書の鷹泊を考慮した、
3:08:48	有効係数の算出式を用いることで、構造評価でも保守的な評価が可能であるということを確認しております。
3:08:57	と申し訳ないんですけどもここで 1 点、修正がございます。
3:09:03	投票の下の注記に、報告書の中に記載されている $\beta_{aw}$ の計算式、
3:09:11	記載しているんですけども、
3:09:14	すいません。ここに鷹泊を考慮した方が抜けておりまして、実際は、 $\beta_{aw}$ イコールで、最後にマイナス、有効。
3:09:24	マイナスで、鷹泊長を有効高さで終わるような方が入ってくるので、こちらは
3:09:35	今後適正化させていただきます。
3:09:38	ここまでの検討で鷹泊を、部材厚 300 ミリに対して鷹泊を生じた場合におきまして、かなり有効係数は小さくなるものの、
3:09:50	一定程度、Ph. D. がちゃんと効果を発揮するということを確認いたしました。
3:10:00	資料の説明としては以上です。
3:10:03	はい、規制庁チギラです。それでは今説明がありました、江藤奥井重要土木構造物代金安全評価のPPB関係と、あと、
3:10:14	資料 2122 ですね、こちらのPPBになると思いますが、こちらについて確認する点がある方お願いします。
3:10:26	規制庁の三浦です。よく検討していただいて十分によくわかりました。結局、ちょっと気にしたのはその部材厚 300 で、斜め 45° 方向にひびが起きたときに、
3:10:37	BHPの長さが短ければ、何かひび割れに対してどんだけ入ってるかってことでせん断耐力って決まってくると思ったんですよね。
3:10:46	検討とか、今の技術支援のやり方を見れば、結局それが全部有効計算の中にあらわれてくるってということなんですよね。
3:10:55	解析的な検討もあり、この妥当性ってのは十分に確認できました。私はこれで結構だと思えます。
3:11:07	はい。他、PPBだと、北海道土木構造物全般についてお願いします。
3:11:15	規制庁の服部です。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:11:17	先ほど三浦の方からもお話がありましたように部材厚の薄いところに打設するpHBの話は、私も、
3:11:28	了解としたいと思いますので、
3:11:31	資料番号 21 番。
3:11:34	このナンバー5 ですね。
3:11:37	今回回答のところこれは了解となるというふうな認識でいます。
3:11:43	あと細かい点を、誤記とかそういうところを何点か確認させてください。
3:11:49	まず資料番号 20-33 ページをお願いします。
3:11:58	この表のタイトルにある補足検討は、
3:12:02	この表の中身を見ると、補足説明になってますので、
3:12:06	これは補足説明の動きということよろしいですか。
3:12:17	はい。中国電力の土谷です。
3:12:19	衛藤。
3:12:20	ご指摘いただいた通り補足説明の方は正しいです。失礼いたしました。
3:12:26	規制庁のハットリでしょ。
3:12:28	ハットリですわかりました。
3:12:30	268 ページをお願いしますこれも記載だけです。
3:12:37	ごめんなさい。269 ページでした。
3:12:41	少しマスキングになってますけれども、
3:12:47	ここの断面、
3:12:49	の数ですけど、
3:12:51	第 1 編とフィルター格納槽に比べて数が少ない。
3:12:56	どこまで言っているかわからないんですが数が少ないと思うんですが、
3:12:59	第 1 ベントフィルタ格納槽と同じ数の、段目、やしをつける必要はないでしょうか。
3:13:10	はい、中国電力の吉元です。ご指摘の通りで、不足してますのでそこは追加させていただきます。以上です。
3:13:17	規制庁のハットリですはいわかりました。
3:13:19	あと 310 ページお願いします。
3:13:25	ここで余圧力の評価をしてることなんですけれども、
3:13:31	2-3-3 の余圧力の最後のところで、本検討は、常時の浮き上がりを対象としているため、
3:13:38	地震時による浮き上がりは起こる。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:13:42	考慮しないって書いてあるんですけど、これ地震時は地震時に別にやっ てるんでしょうか。
3:13:48	はい。中国電力の吉本です。今の資料 20 のですね、通しの 287 ページ をお願いします。
3:14:07	衛藤 1 ぽつ概要の 4 パラグラフ目のなお書き以降なんですけど、屋外 配管ダクトのCC断面については、有効力解析を実施する構造物である ため、
3:14:17	地震時の過剰間隙切分布を踏まえた検討を別途実施するというので そちらの構造物の補説の方で、周囲が液状化してるってのを確認した 上で、荷重管理施設を踏まえた、
3:14:28	という圧力もオンして計算をしております。以上です。
3:14:32	規制庁の服部です。はいわかりました液状化するものについてはすべ て、過剰間隙水圧を考慮した浮き上がり評価をやっている。そう。今説 明したやつに限らずすべてにおいてやってる。
3:14:45	ということでよい理解をいたしました。
3:14:54	規制庁の服部です 370 ページお願いします。
3:14:58	資料番号 2 番の、
3:15:00	ここの黄色くハッチングされたところの説明が少しわかりにくいんですけ ども、
3:15:06	取水槽には多くの隔壁があり、
3:15:10	隔壁が耐震駅のように地震力の大半を負担するためってというような記 載があると思います。
3:15:17	私のイメージは、この隔壁っていうのは、
3:15:21	あくまでも下面外壁。
3:15:24	のイメージ、要するに、取水槽を、
3:15:27	通水方向に直角方向にき、断面で切った時の隔壁のイメージをしていま した。
3:15:33	ただ、この記載を見る等、あくまでも隔壁は、
3:15:37	耐震駅のようにって書いてあるということは、
3:15:41	もう体積って多分面内剪断壁のことを言ってるんだと思いますが、
3:15:46	この隔壁っていうのは、どこの隔壁のことを言ってますか。
3:16:01	はい、中国電力の吉本です。ここで言ってる核兵器はですね島鳥居さ んのおっしゃる面外の方向のものを想定してなくて、取水槽がこう南北 に切った時にいくつかエリアがわかると思うんですけど、そのエリアを 仕切ってるような、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:16:15	つま的な意味で記載をしております。なので、剛性の高い質問のところ で、大半の荷重を負担するっていう、そういう意味でこの記載を追加し ております。以上です。
3:16:27	規制庁のハットリですはい取水槽のような、博士構造物の場合は、面外 の壁と面内の壁が組み合わさって、ほとんど面内の壁で、
3:16:37	地震を負担するっていうイメージはわかります。
3:16:39	ただ一方で、
3:16:41	それだから、
3:16:43	構造部材は付着滑舌破壊を生じる恐れがない曲げ部材である。
3:16:49	というのは、
3:16:51	どういうふうな結びつきなんでしょうか。地震力をこっちですずっと負担して しまうので、
3:16:58	要するに脆性的な曲げ破壊が起き、起こりませんよ。
3:17:04	要するに、
3:17:07	つり合い的よりもかなり大きな鉄筋量が入っていてもう、
3:17:12	脆性的な曲げ破壊が起こりませんよと言っているのかー。
3:17:16	それともこのこの間の理解は、
3:17:20	結局、隔壁とかで拘束されたラーメンみたいになってるから、
3:17:27	その何だろう。
3:17:28	スパンの長い、芸のような感じではなくて短い。
3:17:34	要するに隔壁で拘束されてるところがいっぱいあるので、それぞれの部 材が短いので、脆性的な鉄筋量が多くても、引っ張りできるが多くても、
3:17:45	脆性的な破壊までには至りませんってそういう理解をしたんだけど、
3:17:49	この文章を見る限りでは、要するに荷重がち。
3:17:52	地震力の負担が小さいので脆性的な破壊が起こりませんっていうふう に読めるんですが、
3:17:58	この点はいかがでしょうか。
3:18:12	中国電力の別所です。ここの記載の良いところとしてRC基準を参照し て記載しております、その中で、こういう、
3:18:23	耐震併記のようなものが地震力の大半を負担する。
3:18:26	曲げ材っていうのを、この付着性で破壊を生じる恐れのない曲げ材とい うことで、説明がされておりました。
3:18:37	ちょっとその、すみません、メカニズム的なところまで、少しちょっと勉 強不足な部分もあるんですが、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:18:45	基本はあまりそういうおっきなおっきなというかそういう、極端に曲げが卓越するとかっていうそういうことがないので、そういう恐れがないと整理されているのかなとは少しちょっと憶測になりますが、
3:19:00	考えております。
3:19:03	規制庁の服部ですわかりましたこれあれですね、今の説明だとRC基準にこの説明があるってということなんですよねこういうような表現で説明があるってことですね。
3:19:12	なのでわかりましたそちらの方私の方も一応確認しておきますまた、何かわからないことがあればまた、これ多分次回はないのかな。機会があればまたちょっと確認したいと思いますので、
3:19:24	ちょっと、
3:19:41	規制庁のハトリですはいちょっと私の方でも一応確認して、また何かわからないことがあれば、事実確認をしたいと思いますのでよろしくお願い致します。
3:19:50	最後になります。
3:19:58	資料番号の、
3:20:01	22 の、
3:20:05	2-14 ページをお願いします。
3:20:09	これ記載の話なんですけれども、
3:20:12	上から 5 行目。
3:20:14	N-S通報、026-1。
3:20:18	というのが出てくるんですけど、
3:20:21	これC、
3:20:22	今回補足説明資料を正式に出されるときに、
3:20:27	必ずこの番号が付与されて出てくるんでしょうか私のイメージのあくまでも設工認の説明における、整理のための番号として付与されてるもんだとイメージがあったので、
3:20:44	この番号は、
3:20:47	最終的な提出される資料には出てこないもんだというイメージがあるんですがいかがでしょうか。
3:20:56	はい。中国電力の吉本です。おっしゃる通り、確かにここの、何て言うんすかね資料番号の降り方他のところと、どうも違ってて、これは甲斐なにがしっていうように、
3:21:07	その時の資料版、資料の何かステータスを書くようなものなので、
3:21:13	例えば他の箇所だと、違うふうに、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:21:16	記載がございますので、ちょっと場所探しますのでお待ちください。
3:21:39	あ、中国電力の吉本です。例えば資料番号 20 の
3:21:44	通しの 33 ページ。
3:21:54	で、先ほどご指摘のあったページですけど下の方に注記※って書いてありまして、地盤の支持性能に紐付けてます。そこで補足、鳥居さんの 01、2 番のCNOについてこれが正式な土砂の
3:22:07	番号として出すものですのでヒアリングのたびに出す資料番号と違ってこちらが整理になる認識です。
3:22:14	先ほどの資料では、そこができてなかったの次改めます以上です。
3:22:19	規制庁の服部ですわかりました。でもこういう補足 02301 みたいな番号というのは、正式な図書の番号として付与されるってことなんですね先ほどの、
3:22:29	. 2 とか法の下位何とかというのは、個別としてこういうのはきちっと付与されるということによろしいんですね。はい。わかりました。では適正化の方お願いします私から以上です。
3:22:54	規制庁大橋です。簡単な確認なんですけど、
3:22:58	20 番の資料の、
3:23:00	屋外重要土木構造物の 13 ページのところなんですけど、
3:23:05	13 ページに貯水機能について、方針が書いてあって、
3:23:10	下から 2 行目のところで、
3:23:15	岩盤はこれジャグ 4601 の鳥居矢野。
3:23:19	大長 0 点のことですけども、
3:23:22	岩盤を超えると、
3:23:29	漏水量を算定し、
3:23:32	という具合な方針になっているんですが、
3:23:37	このトリリニアの場合、
3:23:39	例えばSDで言うところの概ね弾性っていうのは、
3:23:43	この台帳 0 点超えて、それが許容
3:23:46	応力度内だっていう話の、
3:23:49	に対応すると思うんですが、
3:23:51	実際ががんばり超えてもまだ許容応力度内であるという認識なんですけど、
3:23:57	実際の運用として、がんばり超えてると必ず漏水量を評価するっていうそういう流れにはなってるんですか。
3:24:10	はい。中国電力の吉元です。ちょっと運用、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



3:24:15	ちょっとわかりませんが実際ここで記載している意図としましては、先行も含めてこの面外の方の調整機能の設定については、この弱のスケルトントリリニアを参照してまして、
3:24:28	第1折れ点を一つのQ値として保守的に定めているものだと考えてますが、それを超える場合には、別途検討を行うということで、審査上そういうふうには協調定めているというふうな、
3:24:39	次第です。
3:24:45	大橋先生、保守的に考えているということで、
3:25:05	浦野さんと、
3:25:11	それで、
3:25:13	はい、大橋安江。
3:25:15	大橋です。これまでも保守的に、
3:25:19	過去のサイトで使う、
3:25:22	扱っているということで理解しました。
3:25:26	もう一つですね。
3:25:27	15ページの、これ概要図についてちょっと確認なんですけど、図2.6.6ハイフォンの1の、
3:25:35	要求機能等、許容限界の関係の概念のグラフで左の方が下なんですけど、
3:25:42	これ枚なんかトリリニアっぽく書いてあって、西郷。
3:25:47	下向きになっちゃってるんですけど、
3:25:50	さっきのグミのような、トリリニアだと。
3:25:54	第1折れ点については、断面降伏じゃなくて、第2折点が代目断面降伏ってような形で、
3:26:03	ちょっと一般的なのと、
3:26:06	合わないなっていうのがあるんですけどこれ出典はどこなんですかね概念図なんで、ポンチ絵ですということでもいいですけど、
3:26:15	はい、中国電力の吉本です。終点は土木マニュアル等を参考にしまして、国会重要土木構造物のその限界状態っていうのが、かぶりコンクリートの剥落、
3:26:25	最大一体荷重を超えてさらにもうちょっと先になるんですけど、かぶりコンクリートの剥落を迎える一歩手前の状態を限界状態として設定してますということで、
3:26:34	この集客原価がここに当たってます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:26:37	で、よく言う、土木終局っていうのが、この最大対抗力のところで、終局モーメントとかその辺は、ここで決めてたりします。で、実際その
3:26:49	出典の元になったのが 100、
3:26:51	資料 20-191 ページ。
3:27:11	191 ページで、
3:27:14	ここ
3:27:16	Bのところの鉄筋降伏のところを、さっきの断面降伏っていうような、
3:27:23	扱いで書いてるっていうことでよろしいですか。はい。中国電力の石松収益の交付はおっしゃる通りBのところです。
3:27:31	規制庁大橋です。バイリニアなんかでも、第 1 点目の 0 点で、断面降伏とか書いてあるんで、そういうような扱いで書いているということで理解しました。以上です。
3:27:52	はい。規制庁の千明です。他、よろしいでしょうか。
3:27:57	では、
3:28:01	耐震計算書、土木関係については以上といたします。
3:28:06	それではまた人の入れ替えがありますので、ここで一旦録音を停止します。
3:28:17	はい、規制庁逃げられるIIそれでは耐震基本方針、水平 2 方向に関してコメント回答。
3:28:24	と適正化。
3:28:26	内容について説明をお願いします。
3:28:34	中国電力の宮原です。それでは水平 2 方向及び鉛直方向人力の組み合わせについて、説明させていただきます。
3:28:41	一部、新規の部分がありますので、まずそちらから説明させていただきます。資料番号 25 の 2 ページの目次をお願いいたします。
3:28:51	本日は、別紙 2 及び別紙 3 の前回までで通じとさせていただいた部分について、まず説明させていただきます。
3:29:00	衛藤。まずは、別紙 1 について説明いたします。
3:29:05	資料番号 25 の少し飛びますが 77 ページをお願いいたします。
3:29:14	前回随時とさせていただいていた、SD地震時の面外慣性力と、面内せん断力を組み合わせた荷重に対しての影響検討について説明させていただきます。
3:29:27	解析モデルについては、Ss地震時の検討と同様に、静的応力解析モデルとし、評価については、次の 78 ページに示した、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:29:38	算出方法による応答補正比率によって、不確かさの影響を考慮した面外慣性力と、面内せん断力を組み合わせた荷重に対して、
3:29:49	許容限界を超えないことを確認することとしております。
3:29:53	8、81 ページをお願いいたします。
3:29:59	大戸補正比率については、次の 82 ページに示した算出フローに従いまして、
3:30:06	質点系モデルの最大応答加速度を用いて、整数の時と同様に算出しております。
3:30:12	83 ページに応答補正比率の算出結果を示しております。
3:30:18	84 ページをお願いいたします。
3:30:21	断面の評価部位については、こちらのSSと同じですが、壁厚ごとに、勢力が最大となる部分を全停することとしております。
3:30:34	87 ページをお願いいたします。
3:30:38	断面の評価方法については、面外慣性力と面内せん断力によって生じる鉄筋応力度と、面外せん断力が許容限界を超えないこととしております。
3:30:50	89 ページをお願いいたします。
3:30:54	断面の評価結果を次の 90 ページの表 2-13 に示しております。
3:31:00	適用力度、面外せん断力ともに、影響限界以下であることを、
3:31:05	確認したため面外慣性力及び面内せん断力を組み合わせた場合に、影響がないことを確認しております。
3:31:14	別紙については以上になります。続いて別紙 3 について説明いたします。
3:31:19	ページ飛びまして 177 ページをお願いいたします。
3:31:30	別紙 3 についても前回通知とさせていただいていた。
3:31:34	部分について説明いたします。建物耐震性評価への影響検討として、3次元FEMモデルの建物模擬モデルと、
3:31:44	質点系モデルの応答の比較、また、3次元的な音特性を考慮した、
3:31:49	建物の影響検討について説明させていただきます。
3:31:54	まず応答値の比較は、最大応答加速度を対象に実施しておりまして、
3:32:00	180 ページから 203 ページまでに、地震動ごと方向ごとの加速度の比較を記載しております。
3:32:10	ここで記載の訂正がございます。各地震動のAEW方向加速度のグループのうち、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:32:17	例えば 182 ページなのですが、真ん中辺りのIWリーグの 23.8 メートル、グラフの一番下になるんですけども、その 30mの値が正しい値を参照できておりませんでした。
3:32:31	修正して適正化いたします大変申し訳ありませんでした。
3:32:36	ページ戻っていただいて 177 ページをお願いいたします。
3:32:40	最大応答値の比較結果より、建物下層部の音は概ね同等ですが、建物上層部については、質点系モデルの応答が大きくなる傾向を確認しております。
3:32:52	従って出展系モデルに保守性があると考えておりますが、
3:32:56	3 次元の応答特性を踏まえた検討を続いて実施しております。
3:33:02	ページ飛びまして、204 ページをお願いいたします。
3:33:11	3 次元的な音特性の影響検討として、
3:33:15	次の 250、205 ページの検討フローに従いまして、応答不正比率を考慮して算出した。
3:33:22	等価ひずみを用いて検討を行っております。
3:33:26	208 ページをお願いいたします。
3:33:30	大戸温泉比率は 1 方向入力の音に対する、3 方向入力の音の比率 ALPHA と。
3:33:37	質点系対応モデルの音に対する建物模擬モデルの応答の比率データを乗じることで、
3:33:44	算出しております。
3:33:47	次の 209 ページから 232 ページに、それらの応答補正比率の算出結果の一覧を示しております。
3:33:56	233 ページをお願いいたします。
3:34:03	算出した応答補正比率を用いて等価せん断ひずみによる評価を行っております。
3:34:10	次の 234 ページと 235 ページに算定結果の一覧。
3:34:15	236 ページから 249 ページに、スケルトン曲線上に、
3:34:21	盗聴プロットしたものを示しております。
3:34:25	算定結果より、いずれの等価せん断ひずみを評価基準値である。
3:34:30	2 年前からを消化しておりませんので、耐震性への影響がないことを確認しております。
3:34:35	簡単ですが別紙 2、別紙 3 の辻部分の説明は以上になります。
3:34:41	続いて、記載の適正化について
3:34:44	説明いたします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:34:47	資料番号 23 の 3 ページ目をお願いいたします。
3:34:54	前回までに説明させていただいた結果が変わるような適正化は、
3:34:59	ありませんので主な適正化についてのみ、説明させていただきます。
3:35:05	ナンバー170 をお願いいたします。
3:35:09	該当部分は資料番号 25 の 91 ページと 93 ページになります。
3:35:18	別紙 2 のまとめ部分になりますが、前回説明させていただいた検討内容に対して、
3:35:24	結論を見直す少し書き方を見直しまして、
3:35:28	検討内容と結論が対応し、また、当然対象として、
3:35:32	まとめ方が統一されるように記載を適正化しております。
3:35:37	その他については誤記修正等になりますので、本日の説明は割愛させていただきます。
3:35:43	以上で説明を終わります。
3:35:46	はい。規制庁の千明です。それでは今説明がありました水平 2 方向及び鉛直地震力方向地震力の組み合わせに関してですので、本日の説明をさせていただきます
3:36:00	説明を終わります。
3:36:02	に関してですね。はい。今、新規で説明していただいた内容と記載の適正化に関して確認する点がある方、お願いします。
3:36:15	規制庁の三浦です。ちょっと私から 1 点確認だけです。20 資料 25。
3:36:22	ー77 ページ。
3:36:25	これで 2ー7 の一番最下の 4 行目ぐらいですかね。
3:36:32	ええ。
3:36:34	面内皮図面内に対する、生じる旋盤ひずみの評価に対する影響は小さい。
3:36:42	書いてあるんですが、
3:36:43	これ逆にね。
3:36:46	へえ。
3:36:47	面内に生じるひずみに対して面外せん断に対する影響ってのはどういうふうに考えてます。
3:37:10	少々お待ちください。
3:37:43	中国電力の三原です。お待たせいたしました。
3:37:46	江藤南。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:37:48	面内に生じるせん断ひずみに対する、面外センターの影響ですが、そもそも年代せん断ひずみ自体が、それほど大きな値になっていませんので、
3:37:59	面外せん断のひずみに対する影響も小さいと考えております。以上です。
3:38:05	規制庁の三浦です。今実際に言ってるのはあれですか。
3:38:12	2000 マイクロ対処してんじゃなくて実際の応答結果が非常に小さいってことを言ってるんですか。
3:38:22	中国電力の落合です今、回答したのがそういう趣旨です実際の応答としてはそれほど大きなひずみが出てないということと、あと先行と比べても特に
3:38:33	詰まりが特別大きいごとに出てるわけではないというふうに考えております。以上です。うん。この部分もちょっと付け加えて書いてください。
3:38:43	今言ってたようにね、これ実際面内せん断面のひずみが入ったときに面外せん断耐力と落ちるんですよ。
3:38:50	一般的に言われてるのは2割落ちるって言われてるんですけどね。ほんで、
3:38:55	今言ったように面内に生じるせん断力の許容値は2.0掛けた10のマイナス何三条かもしれないけれども実際はもっと小さいオーダーで収まっている。
3:39:06	とかね。
3:39:07	あとそういうことを少し加味したとしても非常に照射照査値76ページ。
3:39:14	の検定値非常に小さいんで、問題はないということで、
3:39:20	そういう記載を加えていただけますか。
3:39:23	面内いった
3:39:25	何か、面外に対する面内の影響だけではなくて、逆に、
3:39:30	面内に対する面外の影響についてもちょっと記載を加えておいてください。
3:39:40	中国電力の落合です承知いたしました。ちょっとここは北井の方で確認しておきたいと思います。以上です。
3:39:46	はい。よろしく申し上げます私は以上です。
3:39:53	はい。規制庁チギラです。他、確認する点ある方はいらっしゃいますか。
3:39:59	よろしいですかね。
3:40:01	はい。土岐瀬川からの確認は以上となります。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:40:07	では、
3:40:09	中国電力の方から、
3:40:12	今のパートで、
3:40:13	確認ず、補足で説明する点等ありますか。
3:40:19	中国電力の落合です当社の方から追加の説明事項等ございません。 以上です。
3:40:24	はい、わかりました。それでは続いてとしても、特にないと思いますので はい。それでは本日午後のヒアリングの方を終了いたします。お疲れ様 でした。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。